



学校の歴史が語る『誇り』、『絆』、そして『未来』

私たちの学び舎の歴史展



学校の歴史が語る『誇り』、『絆』、そして『未来』

私たちの学び舎の 歴史展

目次	1頁
在籍児童生徒数と学級数の変化について	2頁
豊川市の学校のあゆみ	4頁
豊川市小中学校の変遷について	8頁
豊川市小中学校の紹介	13頁

●掲載順

豊川小	13頁	東部小	14頁	桜木小	15頁
三蔵子小	16頁	千両小	17頁	牛久保小	18頁
中部小	19頁	八南小	20頁	平尾小	21頁
国府小	22頁	桜町小	23頁	御油小	24頁
天王小	25頁	代田小	26頁	金屋小	27頁
豊小	28頁	一宮東部小	29頁	一宮西部小	30頁
一宮南部小	31頁	萩小	32頁	長沢小	33頁
赤坂小	34頁	御津北部小	35頁	御津南部小	36頁
小坂井東小	37頁	小坂井西小	38頁	東部中	39頁
南部中	40頁	中部中	41頁	西部中	42頁
代田中	43頁	金屋中	44頁	一宮中	45頁
音羽中	46頁	御津中	47頁	小坂井中	48頁

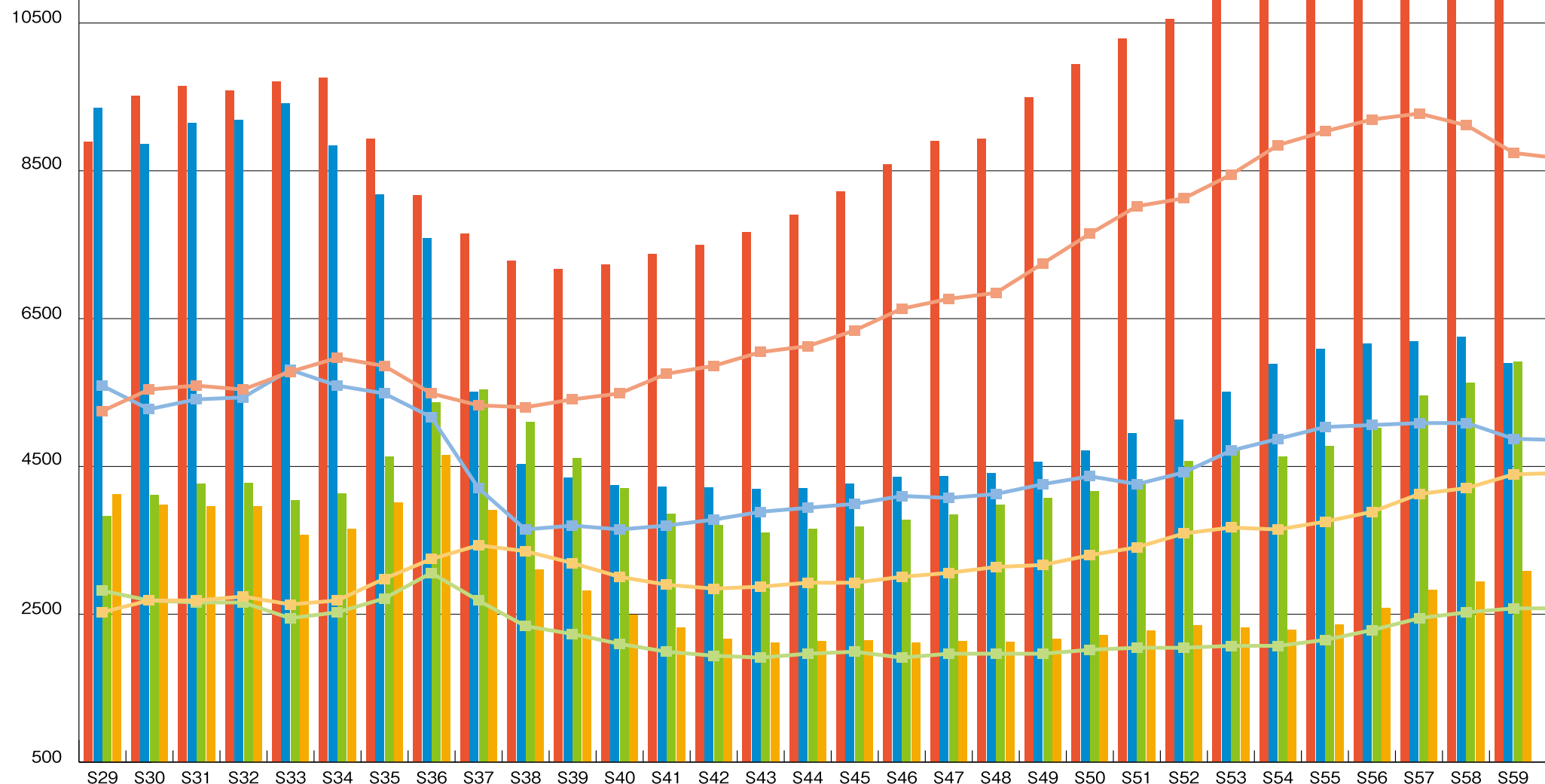


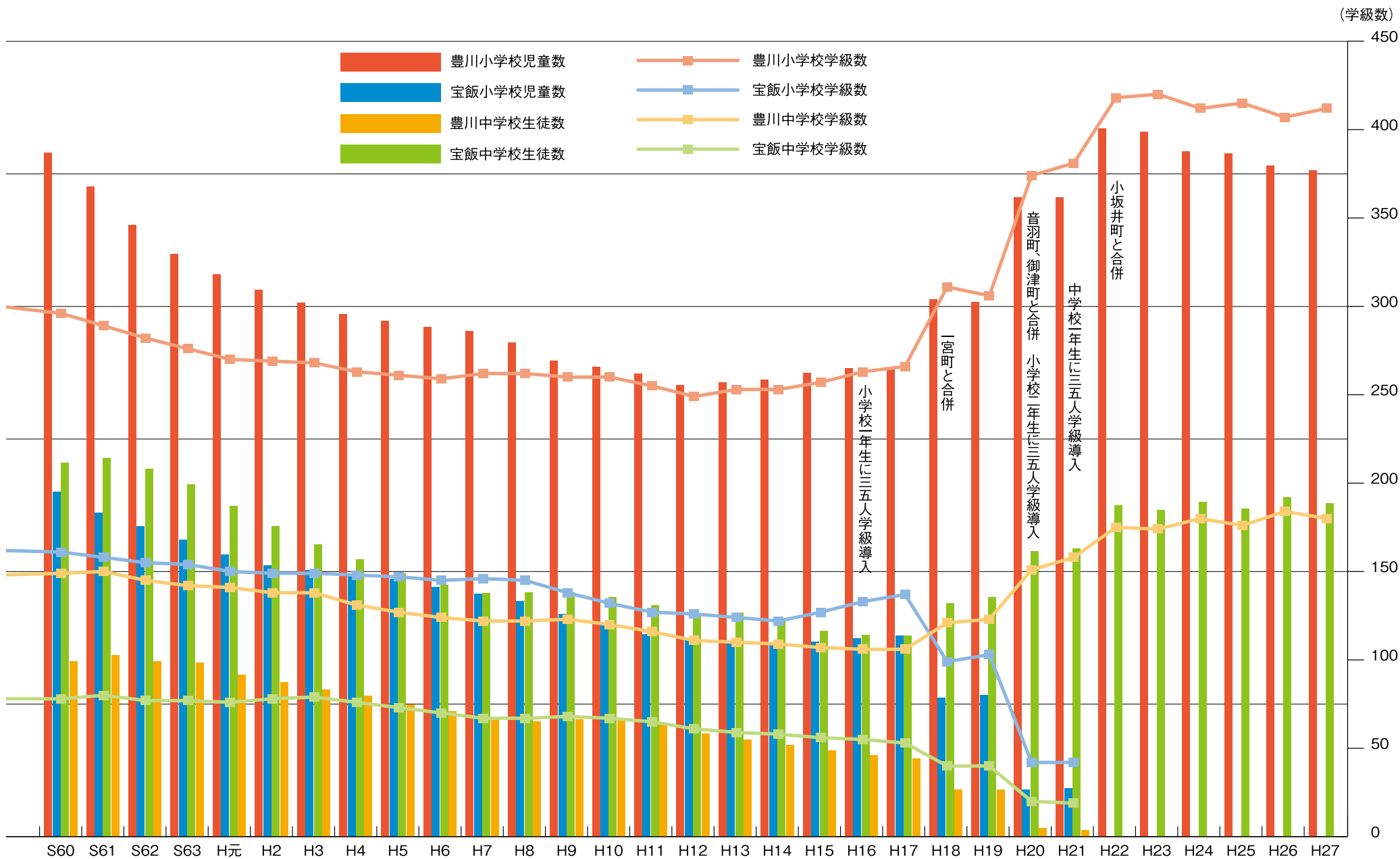
豊川市の児童・生徒数と学級数の推移 (愛知県教育年報・学校基本調査より、特別支援学級を含む)

(児童・生徒数)
12500

グラフを見ると、小学校では昭和56、57年、中学校では昭和61年をピークに、児童・生徒数が減少に転じています。豊川市における少子化の影響がわかります。また、近年児童・生徒数に対して学級数が増えているのは、小学校1・2年生と中学校1年生における35人学級の実施と、特別支援学級数の増加の表れです。

平成18年から行われた豊川市と宝飯郡の合併により市域が拡大し、児童・生徒数は増加しましたが、現在でもその数は減少傾向にあります。





豊川市の学校のあゆみ①



S18
豊川町・牛久保町・国府町・八幡村の3町1村が合併し市制施行

S20
豊川海軍工廠B29により爆撃を受ける
死者は2500人を超える

S27 市教育委員会発足



S30 御油小 給食の風景



S34 桜木小 遠足



S30年代 一宮東部小 掃除の風景



S2 国府小



S26 豊川小



S31 中部中 大塚で水練会



S35 音羽中 体育大会 東海道にちなんだ種目



S30年代 赤坂小 学芸会



S2 八幡南部小



S10 平尾小 休み時間のようす
着物から簡単服に変わる夏



S27 東部中



S36 豊川小 給食風景



S39 小坂井中 東京五輪 聖火伴走

学校給食の変遷

S22

弁当持参による補食給食が開始

S26

パン・ミルク・おかずによる完全給食が始まる

S35

日景修好100年記念としてアメリカより乾ブドウ寄贈ブドウパンとして給食へ

豊川市の学校のあゆみ②



S40 御津南部小 制服制定



S48 中部小 OHPを使った授業

S50 遠見山に野外教育センター完成



S52 三蔵子小 キャンプ 遠見山野外教育センター

S53 キュパティノー市と姉妹都市提携



S53 キュパティノー中学生使節団訪問



S43 一宮西部小 一西体操



S45 一宮中 プール開きにて 古式泳法披露



S48 中部小 ゴンドラ山



S51 天王小 田植え



S40年代 牛久保小 運動会



S43 南部中 センター方式給食開始



S51 東部小 耐寒かけあし

S39 中学校学校給食スタート

S41 給食の多様化を図るためにソフトめんを採用

S43 学校給食センターが完成

S45 脱脂粉乳の混合乳から全乳に切り替え牛乳飲用の促進を行う

S51 給食に米飯の導入を決定

豊川市の学校のあゆみ③



S55 アンネの日記展



S56 ヘレンケラー展



S60 小坂井西小 小西祭



S60 一宮南部小 親子キャンプ



H1 三蔵子小 マーチング全国大会出場



S52 南部中
教育文化祭 マスゲーム披露



S54 千両小 体力づくり



S55 中部中 佐久島キャンプ



S63 長沢小 八王子神社でムササビを追う



H8 桜町小 新生50周年記念集会



S54 金屋中
佐奈川沿いで給食



S54 金屋小 鉛筆削り大会



S58 八南小 待ちに待ったわんぱく山完成



S63 東部中 スポーツ大会



H6 千両小
市長さんを囲む給食会

S62
米飯給食が週2回以上
となる

豊川市の学校のあゆみ④



H5 代田小「ああ 豊川海軍工廠」上演



H19 赤坂小 調理員さんありがとう

H18 一宮町と合併

H20 音羽町と御津町と合併

H22 小坂井町と合併

H26 市制施行70周年記念 はやぶさ展示会



H26 はやぶさ展示会

H5 市制50周年記念 ふるさと子ども劇場



H8 東部小 三上の豊川川原で秋祭り



H20 御津北部小 野外教育活動 ～きららの里～



H24 西部中 無錫市新区中学生使節団来校



H25 代田中 代中フェスタ エコキャップアート



H26 国府小 地域の方へ感謝の餅つき



H8 萩小 親子探鳥会



H20 豊川小 運動会にて和太鼓披露



H24 小坂井東小 ヤゴ救出作戦



H25 御津中 オーストラリアとの海外交流



H26 豊小 芋煮会

H14

穂ノ原に学校給食センターが完成18の小中学校に給食を供給

H19

愛知を食べる学校給食の日開始

H25

小坂井に南部学校給食センターが完成18の小中学校に給食を供給

豊川市立小学校の変遷について

	1873	1874	1887	1892	1914	1941	1947
豊川小	育英館(妙厳寺)	豊川小学校	尋常小学 豊川小学校	豊川町立豊川尋常小学校	豊川尋常高等小学校	豊川国民学校	豊川市立豊川小学校 豊小分離 金屋小分離 1982 桜木小分離 1976

昔の学び舎



桜町小学校



千両小学校



牛久保小学校



御油小学校



麻生田小学校



睦美小学校



平尾小学校



南部中学校



八南小学校



国府小学校



中部小学校



西部中学校

桜木小	1957 豊川市立桜木小学校 (豊川小より分離)
豊小	1982 豊川市立豊小学校 (豊川小より分離)
金屋小	1976 豊川小 豊川市立金屋小学校 中部小
中部小	1947 豊川市立中部小学校 金屋小分離 代田小分離 1976
代田小	1975 中部小 桜町小 豊川市立代田小学校 八南小

	1872	1874	1876	1904	1907	1930	1941	1943	1947
八南小	育英館(松永寺)	穂原学校	市田学校	市田尋常高等小学校	八幡南部尋常高等小学校	八幡南部尋常高等小学校	八幡村南部国民学校	豊川市立八南国民学校	豊川市立八南小学校
		1877	1892						
		八幡学校		八幡尋常高等小学校		1930 愛知県八幡公民学校			

桜町小	1875	1880	1887	1892	1907	1913	1941	1943	1947
	桜町学校(淵深寺)	桜町学校(公立) 1881 蔵子学校	尋常小学国府学校開校に伴い、「簡易科桜町小学校」となる	桜町尋常小学校	国府尋常高等小学校南校舎	国府尋常高等小学校分教場	国府国民学校桜町分教場	豊川市桜町国民学校	豊川市立桜町小学校

国府小	1873	1887	1896	1907	1941	1943	1947
	国府学校(極楽寺)	尋常小学校国府学校	国府町立第一尋常小学校	国府尋常小学校	国府国民学校	豊川市国府国民学校	豊川市立国府小学校
	1879		国府町立第二尋常小学校				
	為当学校						
	1876						
	白鳥学校						
1875							
桜町学校							

東部小	1873	1879	1884	1887	1889	1890	1892	1893	1903	1906	1907	1916	1921	1941	1943	1945	1947	1963		
	一宮義校当古分校第十学区35番小学校(当古長慶寺)	宝飯郡当古学校	宝飯郡第五学区当古学校	宝飯郡第三学区尋常小学校	宝飯郡陸美村立陸美尋常小学校	当古分教場設置	陸美村立当古尋常小学校	陸美村立当古尋常高等小学校	陸美村立陸美尋常高等小学校	豊川町立陸美尋常高等小学校(尋常科)	豊川町立陸美尋常小学校(尋常科)	豊川町立陸美尋常高等小学校	豊川町立豊川尋常高等小学校第一分教場	豊川町立豊川国民学校第一分教場	豊川市立豊川国民学校第一分教場	豊川市立陸美国民学校	豊川市立陸美小学校	豊川市立東部小学校		
	1876	第十学区102番小牧野学校(明全寺)	宝飯郡第五学区牧野学校				宝飯郡陸美村立陸美尋常小学校	宝飯郡東部高等小学校		宝飯郡東部第二高等小学校(高等科)	陸美分教場(高等科)			宝飯郡東部第二高等小学校(高等科)						
	1875	?番小学校	1879	麻生田学校	1887	麻生田尋常小学校	1921	豊川町立豊川尋常高等小学校第二分教場	1941	豊川町立豊川国民学校第二分教場	1945	豊川市立麻生田国民学校	1947	豊川市立麻生田小学校						
	※資料散失のため、詳細は不明																			
	1873	38番小三波野学校	1887	三上尋常小学校	1893	三上村立三上尋常高等小学校	1917	補習校附設	1941	八名郡三上村立三上国民学校	1947	八名郡三上村立三上小学校	1955	豊川市立三上小学校						

三蔵子小	1876	1889	1893	1906	1922	1941	1945	1947
	三蔵子学校	豊川村立三蔵子小学校	豊川町立三蔵子尋常小学校	豊川北部尋常小学校	豊川尋常小学校第3分教場	豊川国民学校第3分教場	豊川市立三蔵子国民学校(分離・独立)	豊川市立三蔵子小学校

千両小	1873	1875	1881	1887	1892	1904	1907	1918	1941	1943	1947
	穂原学校(松永寺)	穂原学校出張所(善秀寺)	千両尋常小学校	千両尋常小学校市田分校	千両尋常小学校	千両尋常高等小学校	八幡村東部尋常高等小学校	実業補習学校併設	宝飯郡八幡村東部国民学校	豊川市千両国民学校	豊川市立千両小学校

豊川市立小学校の変遷について

牛久保小	1873	1876	1878		1885	1887	1892	1907	1914		1941	1943	1947
	第42番 小学生牛久保 学校 (東勝寺)	第119番 牛久保学 校	牛久保学校		牛久保 学校に 統合	尋常小学牛久保 学校	牛久保町立牛久保尋常小学校	宝飯郡牛久保尋常小学校	宝飯郡牛久保尋常高等学校		宝飯郡 牛久保国 民学校	豊川市 牛久保国 民学校	豊川市立牛久保小学校
			1879 宮島学校(下長山村)										
			1879 鍛冶学校(中条)										天王小分離

1974

天王小													1974 豊川市立天王小学校 (牛久保小より分離)
-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---------------------------------

平尾小	1872	1874	1875		1887	1897	1907				1941	1943	1947
	育英館 (松永寺)	穂原学 校	平尾学校		宝飯郡尋常小学平尾小学校	平幡村立平尾尋常小学校	八幡西部尋常高等小学校				宝飯郡八 幡西部国 民学校	豊川市 平尾国 民学校	豊川市立平尾小学校

御油小	1873	1875	1879	1886	1892	1893	1925				1941	1947	1959
	御萩小学校(本陣)	御油分校萩村学校	小学御油学校	尋常小学御油学校	御油尋常小学校	御油町立御油尋常高等小学校	御油青年学校				御油町立御油国 民学校	御油町立御油国 民学校	豊川市立御油小学校

一宮 東部小	1872	1873				1907	1916	1930	1938			1947	1961	2006
	一宮義校	一宮学校				一宮東部尋常小 学校	高等小学校併置	東西補修学校合併	江島分学校廃止			一宮村立 一宮東部 小学校	一宮町立 一宮東部 小学校	豊川市立一宮東 部小学校
		1875			1892									
		東上分学校			東上小学校									
		1875			1894									
		上長山分学校			上長山小学校									
	1873			1894										
	江島分学校			江島小学校										

一宮 西部小	1872	1873		1889		1907	1915		1930	1941	1947	1961	2006
	一宮義校	一宮学校		桑富第3尋常小学校		一宮西部尋常小 学校	一宮西部尋常・高等小学校		補修学校・處女 会・青年訓練所 廃止	一宮村西部国民 学校	一宮村立西部 小学校	一宮町立 一宮西部 小学校	豊川市立一宮西 部小学校
		1873		1887	1889								
		大木学校		大木学校 足山田・ 篠田分校 再び合併	1889 桑富第1尋常小学校								
			1881 足山田分校		1889 桑富第2尋常小学校								
			1883 篠田分校				一宮村立西部実業補修学校						
						1918	一宮西部處女会						
							1923	一宮西部青年訓練所					
								1926					

一宮南部小	1872	1878		1892		1921		1941		1947	1954	1961	1976	2006												
	日下部学校		豊津学校		豊津尋常小学校		大和尋常高等小学校		大和国民学校		大和村立大和小学校	一宮村立大和小学校	一宮町立大和小学校	一宮町立一宮南部小学校	豊川市立一宮南部小学校											
萩小	1872	1874	1877		1887	1892		1941		1947	1955	1961														
	小学御園校	小学養父学校	金沢学校	賀茂尋常小学校	金沢尋常小学校				金沢国民学校	金沢村立金沢小学校	双和村立金沢小学校	一宮村立金沢小学校	一宮町立金沢小学校													
長沢小	1874	1876		1886		1892		1923		1941		1947	1955	2008												
	御油学校分校(慈恩寺)	萩学校		尋常小学萩学校		萩尋常小学校		萩尋常高等小学校		萩国民学校		萩村立萩小学校	音羽町立萩小学校	豊川市立萩小学校												
赤坂小	1872	1873	1873	1874	1886		1892	1903	1909		1926		1941	1947	1955	2008										
	赤坂郷学校	長沢支学校	長沢義校	長沢学校	尋常小学長沢学校		長沢村立長沢尋常小学校	長沢尋常高等小学校	長沢尋常小学校		長沢尋常高等小学校		長沢国民学校	長沢村立長沢小学校	音羽町立長沢小学校	豊川市立長沢小学校										
御津北部小	1868	1869	1870	1872	1874	1886		1892	1902		1908		1941		1947	1955	2008									
	道斎館(浄泉寺)	修道館(正法寺)	赤坂義校	赤坂郷学校	赤坂学校	尋常小学赤坂校		赤坂尋常小学校		赤坂尋常高等小学校		赤坂国民学校		赤坂町立赤坂小学校	音羽町立赤坂小学校	豊川市立赤坂小学校										
御津南部小	1872	1873	1880		1887	1892	1903	1907		1941		1947	2008													
	広石郷学校(浄宝寺)	広石学校	公立広石学校		尋常小学広石学校	御津尋常小学校	御津尋常高等小学校	御津北部尋常高等小学校		御津北部国民学校		御津町立御津北部小学校	豊川市立御津北部小学校													
小坂井東小 小坂井西小	1873	1875	1878	1880		1887	1892	1902	1907		1941		1947	2008												
	佐脇学校	上佐脇学校		公立佐脇学校	尋常小学佐脇学校	佐脇尋常小学校	佐脇尋常高等小学校	上佐脇尋常小学校		御津南部尋常高等小学校		御津町南部国民学校	御津町立御津南部小学校	豊川市立御津南部小学校												
小坂井東小 小坂井西小	1887		1887		1892		1892		1897		1907		1908		1921		1926		1929		1941		1947		2010	
	宝飯第一尋常高等小学校		伊奈高等小学校		伊奈高等小学校		伊奈高等小学校		伊奈高等小学校		伊奈高等小学校		伊奈高等小学校		伊奈高等小学校		伊奈高等小学校		伊奈高等小学校		伊奈高等小学校		伊奈高等小学校		伊奈高等小学校	
	1873	巴水分校	平井学校	前芝尋常小学校へ		1887	1892	1897	1907	1908	1921	1926	1929	1941	1947	2010										
	巴水学校		前芝尋常小学校		平井尋常小学校	豊秋第二尋常小学校	小坂井第二尋常高等小学校	葵尋常高等小学校	小坂井村尋常高等小学校		小坂井町尋常高等小学校	小坂井西尋常高等小学校	小坂井西国民学校	小坂井町立小坂井西小学校	豊川市立小坂井西小学校											
	1873		伊奈学校		伊奈尋常小学校		1907年に第一と第二尋常高等小学校に分かれる																			
	1873	1875	1879	1887	1892	1897	1907	1908	小坂井第一尋常高等小学校		小坂井尋常高等小学校	小坂井東尋常高等小学校	小坂井東国民学校	小坂井町立小坂井東小学校	豊川市立小坂井東小学校											
鹿管学校		宿学校	桃里学校	宿尋常小学校	豊秋尋常小学校	豊秋第一尋常小学校	小坂井第一尋常高等小学校	小坂井尋常高等小学校																		
篠束義校		篠束学校																								
1873		1875																								

豊川市立中学校の変遷について

1947	1977			
東部中	豊川公民学校と豊川市立工業学校が同居していた西豊町に豊川市立東部中学校を設置 一部金屋中学校へ			
1977	1977			
金屋中	東部中と南部中の一部が合併して豊川市立金屋中学校を設置			
1947	1977			
南部中	牛久保町四ツ谷の元海軍工廠第7寄宿舍を校舎に豊川市立豊川南部中学校を設置 同年5月に豊川市立南部中学校と改称 一部代田中学校へ 一部金屋中学校へ			
1973				
代田中	西部中と南部中の一部が合併して豊川市立代田中学校を設置			
1947	1974			
西部中	国府町寒若寺に豊川市立西部中学校を設置→翌年(1948年), 白鳥に移転 一部代田中へ 岡本に移転			
1947				
中部中	野口町新屋敷に豊川市立中部中学校を設置→1952年, 市田町西浦に移転			
1947	2006.2月(H18)			
一宮中	一宮村上新切に中部職業補導所の校舎四棟を借用して一宮町立一宮中学校を設置 豊川市立一宮中学校			
1947	1948	1955	1970	2008(H20)
音羽中	赤坂町立赤坂中学校	赤坂町長沢村 中学校組合立 音羽中学校	音羽町立音羽中学校	豊川市立音羽中学校
	1947			
	長沢村立長沢中学校			
	1947			
萩村立萩中学校	音羽町立萩中学校			
1947	2008			
御津中	御津町坪野に御津町立御津中学校を設置 豊川市立御津中学校			
1947	2010(H22)			
小坂井中	旧住友金属伊奈寮跡地に小坂井町立小坂井中学校を設置 豊川市立小坂井中学校			

豊川小学校



校章の由来

中央に校名の頭文字「豊」を配置し、それを両側の稲で囲むようにした図案

- 1873 (明 6) 豊川村、北金屋村、野口村、大崎村、本野村、三蔵子村を連合して妙巖寺籠堂内に「育英館」を設立(10.25)
- 1874 (明 7) 育英館を改め、第二大学区第十中学区第41番小学豊川小学校と改称
- 1875 (明 8) 北金屋村の烹金寺に分校を設立
- 1887 (明20) 尋常小学豊川学校と改称
- 1892 (明25) 豊川町立豊川尋常小学校と改称
- 1914 (大 3) 豊川尋常高等小学校と改称
- 1922 (大11) 豊川、睦美、麻生田、豊川北部尋常高等小学校を廃止
旧睦美、麻生田、豊川北部を第一、第二、第三分教場とし、4年生以下を収容
睦美、麻生田、豊川北部の5年生以上を収容
- 1927 (昭 2) 校舎増築、町立図書館設置
- 1941 (昭16) 宝飯郡豊川国民学校と改称
- 1943 (昭18) 愛知県豊川市豊川国民学校と改称
- 1947 (昭22) 愛知県豊川市立豊川小学校と改称 高等科は新制中学校に編入
- 1951 (昭26) 学校給食調理室新築
- 1955 (昭30) 豊川市小桜町に分校を設立し、4年生を収容(のちの桜木小学校)
- 1957 (昭32) 豊川市立桜木小学校開校
- 1960 (昭35) 鉄筋三階建校舎竣工 特殊学級を設置
- 1968 (昭43) 北校舎増築工事竣工
- 1970 (昭45) 管理棟、新校舎建築
- 1972 (昭47) プール建設 体育館建設
- 1976 (昭51) 金屋小学校分離
- 1982 (昭57) 豊小学校分離 木造校舎撤去
- 1991 (平 3) 給食調理室跡に「動物ランド」完成
- 1997 (平 9) 校舎新築
- 1999 (平10) コンピュータ教室設置
- 2002 (平14) 正門に大型門扉を設置
- 2005 (平17) 2棟、3棟を撤去し、北校舎新築 愛知万博で6年生が和太鼓発表



愛知万博で6年生が和太鼓発表

四方にきこえし 豊川の
この学舎に つどふ子は
こゝろを清く 洗ひつゝ、
人の鑑となりぬべし

北にそびゆる 本宮の
けだかき姿 仰ぎつゝ、
からだを鍛へ 智を磨き
よき日の本の民たらむ

S26年度以前の校歌



正門から見た校舎(S27頃)
正門は現在も使われている

一本宮山の けだかきを
朝な夕なに あおぎ見て
望みは高く 元氣よく
みんな なかよく 学びあう
楽しい 豊川小学校
二とわに流れる 豊川の
清き姿を そのままに
うまざたゆまざ 手を取って
みんな 明るく 励み合う
楽しい 豊川小学校
三森より響く 鐘の音
平和の調べ しのびつつ
文化の園に つちかいて
みんな 豊かに 伸びていく
楽しい 豊川小学校

S26年度以降の校歌



航空写真(S42)



全校集会の様子(S34)



運動会の様子(S33)



本校は、明治6年に妙巖寺(豊川稲荷)の籠堂内に「育英館」の名称で設立され、今年(平成27年度)で、142年を迎える歴史ある学校である。豊川稲荷の門前町を中心に地域の方々とともに歴史を重ねてきた。以前は校区がとても広がったこともあり、児童数が2,300人近いときもあった。過大化解消のために桜木小、金屋小、豊小に分離した。平成に入って児童数が少しずつ減少していき、平成27年度の児童数は331名である。

「豊川小学校とその歴史をもっと知ってほしい」という願いから、本校卒業生2名の方からお話を聞く機会を設けました。60年ほど前と80年ほど前の本校の様子や行事等をお聞きしました。「1年に3回も運動会があってびっくりした(3年生)」とか「トイレが水洗式じゃないから嫌だな(6年生)」など現在との違いに驚きいっぱいでした。

東部小学校



校章の由来

東は東部小学校の東で、その東を囲む鳥の羽根は、カタカナのトとヨの左右対称の鏡文字となっている。鳥の下部は小や川と読み、「東小」「トヨ川」となる。統合した学校であるため、仲よく平和にという願いを鳩によって表している。

- 1963 (昭38) 睦美・麻生田・三上の三小学校が統合し、豊川市立東部小学校誕生
- 1964 (昭39) 新校舎完成 校歌発表
- 1965 (昭40) 運動場・体育倉庫完成 新1年生制服決定
- 1966 (昭41) 全国学校給食優良校表彰
- 1967 (昭42) 体育館完成 東門完成
- 1968 (昭43) 校旗樹立
- 1969 (昭44) 豊川市で初めて教室にテレビを設置
- 1970 (昭45) プール完成 FBC地方優秀賞受賞
- 1976 (昭51) 南校舎完成 通学団県警表彰
- 1978 (昭53) フィールドアスレチック遊具設置 ジャングルジム新設
- 1982 (昭57) 全国保健体育優良校表彰
- 1983 (昭58) 東海三県学校図書館奨励賞受賞 校庭東隅へ薄墨桜植樹
- 1984 (昭59) 少年補導委員会によるあいさつ運動開始 FBC奨励賞受賞
- 1985 (昭60) 三世代ふれあい「伝承遊具づくり活動」開始
- 1986 (昭61) 健全育成活動が、県警本部・少年補導委員会より表彰
- 1988 (昭63) 新体育館完成 給食単独校廃止
- 1989 (平元) うさぎ小屋完成
- 1990 (平2) 新プール完成 アスレチック取り壊し
- 1997 (平9) 東海三県学校図書館奨励賞総合優秀文部大臣賞受賞
- 1999 (平11) 新校舎増築(PC教室・チャレンジホール等) 木柱遊具(まるたランド)完成
- 2000 (平12) 授業公開日(毎月1日)新設 わくわく池・ふれあい池設置
- 2001 (平13) 読書活動優秀実践校文部科学大臣賞受賞 児童クラブ開設
- 2002 (平14) わくわく動物ランド完成
- 2007 (平19) 実りロード整備
- 2009 (平21) フィールドアスレチック遊具設置
- 2010 (平22) ソーラーシステム設備設置
- 2011 (平23) 各教室扇風機設置
- 2012 (平24) 学校創立50周年記念事業 50周年誌発行
- 2014 (平26) 新校舎改築第1期工事本館完成



開校当時の校舎と正門



読書文部科学大臣賞受賞(H13)



新校舎完成予想図(H28)

開校1年目は、各分教場で分かれて学校生活を送りました(S38)



三上分教場



麻生田分教場



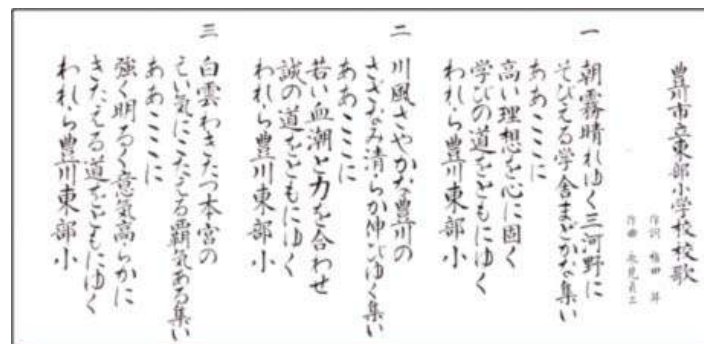
睦美分教場



アスレチック完成(S53)



「伝承遊具づくり」(S60)



新校舎完成(S39)



運動場・噴水・花壇(S40)

新校舎完成後、教育環境が整い、モデル校として多くの視察者が訪れました



校旗樹立(S43)



プール完成(S45)

学び舎の歴史講演会「思い出の校舎」

東部小第2回卒業生で、本校の校長先生でもあった林 繁氏に、開校当時の様子をお話いただきました。木造校舎が主流だった時期に新設された淡いピンクの新校舎、給食運搬用のエレベータの話などに、子どもたちは、驚きの声をあげていました。東部小学校の名前についても触れられて、500を超える投票の中から「東部小」が選ばれ、「東小」「三和小」などの候補についての話も、興味深いものでした。



読書活動についての立体スローガン

昭和38年4月、睦美、麻生田、三上の3つの小学校が合併し豊川市立東部小学校は誕生した。開校当時の児童数は492名で、新校舎が完成した翌年9月までは、3つの分教場で分かれて学んだ。

本校は、読書活動が盛んで、平成13年には、読書活動優秀実践校として、文部科学大臣賞を受賞している。現在も、毎週水曜日に行われる読み聞かせの時間を、子どもたちは大変楽しみにしている。

桜木小学校



校章の由来

PTA会員の図案が採用された。桜の花冠の中に、おしべで木を表し、それらを合わせて「桜木」とし、中心に豊川市の「豊」の文字を配した。

- 1955 (昭30) 豊川小学校分校開校
桜の苗木を校庭周囲に植樹
- 1956 (昭31) 校名が「桜木小学校」と決定
- 1957 (昭32) 「豊川市立桜木小学校」開校
校章・校歌決定 土手に茶の播種
- 1961 (昭36) 校旗を制定
学校文集第1号発行
- 1965 (昭40) FBCコンクール特選
- 1966 (昭41) 児童による茶摘みの始まり
- 1967 (昭42) 運動場に芝の定植
- 1968 (昭43) 野草栽培園・日陰植物栽培園、観察池完成
東門付近銀杏の植樹
- 1971 (昭46) 新校舎(管理棟)完成
- 1972 (昭47) 体育館完成
- 1976 (昭51) プール完成
- 1977 (昭52) 体力づくりのために校内マラソン開始
- 1980 (昭55) マーチングバンド中部大会優良校
- 1986 (昭61) 「木造校舎とお別れ会」 新校舎完成
- 1991 (平 3) フィールドアスレチック設置
- 1995 (平 7) 農園設置工事
- 2001 (平13) 全国ビオトープコンクール奨励賞
- 2002 (平14) わくわく生き生き事業「桜木生き物の森」完成
- 2003 (平15) 全国ビオトープコンクール 日本生態系協会会長賞
- 2005 (平17) 世界子ども環境サミットフィールドトリップ参加
- 2007 (平19) 創立50周年式典
- 2008 (平20) ホタル放流式
- 2009 (平21) 愛知県緑化コンクール入選
- 2014 (平26) トイレ乾式化改修工事



空からの木造校舎 (S35)



木造校舎とお別れ会 (H61)



春のビオトープ (H21)

本校は、昭和30年9月、豊川小学校分校として始まり、昭和32年4月1日、豊川小学校より分離独立し、児童数732名、14学級で開校した。創立当時、雑草茂る校地ではあったが、そこにたたずむ校舎は、赤い瓦屋根に板壁の淡い桃色が明るく映えて、とても美しかった。以来、保護者を始め校区の方々の献身的な奉仕を受け、学校環境を整えていくことができた。校名に因んで校庭周りに植えられた桜も大木になり、春には美しい花を咲かせている。緑豊かな学校の中で、桜木の「もの・ひと・こと」を生かした教育活動が行われている。



開校当時の校舎 (S33)



花形だった鼓笛隊 (S37)



FBC入選花壇と子どもたち (S42)



授業風景 (S34)



校庭の「桜木茶」を摘む (S48)



児童会主催のギネス大会 (H4)

桜木の歴史を聴く会

昔、桜木小が豊川小から分かれてできたことは知りませんでした。初めは732人もいたということや、園芸部、図工部、バレー部など、いろいろな部活があったことに、驚きました。開校の時に地域やPTAの方々桜などの苗木を植えてくれたそうです。自分たちの学校ができてうれしいという気持ちの表れだという話を聞いて、僕たちも学校を大切にしていきたいと思いました。(6年児童感想)



現在の校舎 (H26)

三蔵子小学校



校章の由来

豊川市の市章の「川」を「小」の字に見立て、その上に「三蔵子」の「三」をかぶせたデザインである

- 1876 (明 9) 三蔵子学校創立(第23学区三蔵子学校)
- 1880 (明13) 校舎新築(三蔵子光徳院前共有地)
- 1893 (明26) 豊川町立三蔵子尋常小学校
- 1906 (明39) 豊川北部尋常小学校となる
- 1907 (明40) 小学校が6年となり、現在地に新築
- 1912 (明45) 校舎1棟新築
- 1915 (大 4) 就学出席優良校として宝飯郡長より表彰される
- 1922 (大11) 豊川尋常小学校に合併し、第3分教場となる
- 1941 (昭16) 豊川国民学校第3分教場となる
- 1943 (昭18) 豊川市立豊川国民学校第3分教場となる
- 1945 (昭20) 豊川市立三蔵子国民学校となる(分離・独立)
- 1947 (昭22) 豊川市立三蔵子小学校と校名変更
- 1948 (昭23) 木造校舎第1・2棟新築 校地拡張
- 1952 (昭27) 完全給食開始 校章制定
- 1954 (昭29) 校歌制定
- 1956 (昭31) 講堂・会議室新築
- 1964 (昭39) 西の谷地区が三蔵子小学校校区に編入
- 1966 (昭41) 鉄筋2階建新校舎落成
- 1977 (昭52) プール完成
- 1978 (昭53) 西の谷地区が千両小学校へ編入
- 1979 (昭54) 講堂を取り壊し、体育館新築
- 1982 (昭57) 同窓会結成 児童数ピーク
- 1983 (昭58) 全日本マーチングバンドバトントワリング全国大会初出場
- 1987 (昭62) 木造校舎・調理室取り壊し
- 1997 (平 9) プール南側用地取得
- 2007 (平19) 開校130周年
- 2009 (平21) 運動場拡張



三蔵子小学校の
マスコットキャラクター
「三ぞうトリオ」



豊川尋常小学校 第3分教場(T11頃)

三蔵子小学校は、明治9年5月10日、三蔵子村の光徳寺本堂を仮教室とし、23学区三蔵子学校と称したのが始まりである。昭和20年、豊川国民学校から分離独立。当時の校舎は棟ごと、建物ごとに新築、改築が繰り返され、平成12年にコンピュータ教室、多目的ホールなどの新校舎が増築され、現在に至っている。平成19年には、創立130周年を迎えた歴史ある学校である。

児童数は、昭和57年の25学級963人がピークである。本年度は、25学級717人となっている。校区の多くが市街化区域に指定され、住宅の増加に伴い世帯数も増え、児童数は中部小学校と並び市内最大規模の学校となった。



児童集合写真(M40)



東宮御成婚記念時の職員写真(T13)



入学式集合写真(S41春)



正門から校舎を望む(S53春)

三蔵子小学校 校歌

一、光照りそう 本宮の
嶺の気高き 仰ぎつつ
望み溢れる 僕達が
皆んな元気に 学び合う
あ、楽しい 三蔵子小学校

二、鏡のような 豊川の
清い姿を そのままに
心豊かな 私等が
皆んな仲良く 励み合う
あ、楽しい 三蔵子小学校

三、本野が原に 咲きかおる
文化の華に 培って
行く手輝く 良い子等が
皆んな手を取り 進み行く
あ、楽しい 三蔵子小学校



学芸会(S33)



授業風景(S46)



運動会(S35)



運動会(H3)

学舎の歴史学習会

今日、三小の歴史を知ることができました。OBのおじいさんたちが小学生の頃は、プールが豊川駅の近くにあったそうです。暑い夏に大変だったと思いました。運動会が1年に2回もあったことにはおどろきました。

マーチングバンドが5回も全国大会に出場していたのは、とてもすごいと思いました。

明治時代の教科書を実際に見せてもらいました。破れそうだったけど、触らせてもらえて、うれしかったです。

卒業前に三小の歴史を知ることができて、よかったです。今日教えてもらったことや、今の様子を、わたしが大人になったら子どもたちに伝えていきたいです。(児童感想)



千両小学校



校章の由来

豊川市を4つの「ト」と「川」で表し、中央に「千両」の字を配置した図案。戦後の新学制により学校名が変わり、校章も変更された。



講堂で使われていた
柱時計



八幡東部尋常高等
小学校時代の校章



卒業生(S10)

一 朝日輝く 本宮の
連なる山に いだかれて
ふるき歴史と 伝統を
ほこる我らの ほこる我らの
千両校
二 希望に満ちた 学び舎に
体をきたえ 智をみがき
強く正しく 朗らかに
はげむ我らの はげむ我らの
千両校
三 峯の松風 さやかに
平和のしらべ しるびつつ
明るき文化 きずきゆく
のびる我らの のびる我らの
千両校

- 1873 (明 6) 市田村松永寺に第十番中学区第44番小学穂原学校ができる
- 1875 (明 8) 穂原学校出張所が善秀寺にできる
- 1881 (明14) 校舎ができ、千両尋常小学校が開校する
- 1904 (明37) 高等科ができ、千両尋常高等小学校となる
- 1907 (明40) 八幡村立八幡東部尋常高等小学校となる
- 1910 (明43) 職員住宅ができる
- 1911 (明44) 赤煉瓦の校門ができる
- 1918 (大 7) 実業補習学校が併設される
- 1922 (大11) 中古ミシンを購入し、職員が手作りで制服を作る
- 1923 (大12) 校旗ができる
- 1925 (大14) 講堂ができる
- 1934 (昭 9) 二宮金次郎の石像ができる
- 1937 (昭12) 鉄筋コンクリート製の一心橋ができる
- 1941 (昭16) 国民学校令により、宝飯郡八幡村東部国民学校となる
- 1943 (昭18) 豊川市が誕生し、豊川市千両国民学校となる
- 1946 (昭21) 疎開により、児童が急増する
- 1947 (昭22) 新学制により、豊川市立千両小学校となる
学校給食を開始する
- 1950 (昭25) 中部中学校区から東部中学校区となる
- 1954 (昭29) 校歌ができる(作詞:西口勝校長)
- 1959 (昭34) 教育用テレビが各教室に配置される
- 1961 (昭36) 農繁休暇を廃止する
- 1971 (昭46) 校旗を新調する
- 1978 (昭53) 校舎を移転する、中部中学校区にもどる
- 1981 (昭56) 開校百年式典が開かれる
- 1993 (平 5) 市制50周年ふるさと子ども劇場で「犬頭の糸」を発表する
- 2001 (平13) わくわく生き生き事業として「にこにこ川」ができる



増築後の校舎(M42 ~)



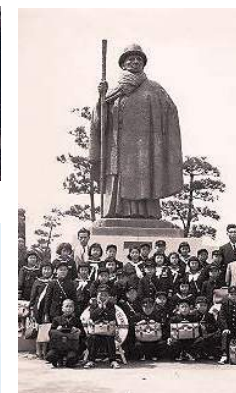
改築後の校舎(S31 ~)



二宮金次郎像



道路作業(S30)



修学旅行・伊勢へ



麦刈り(S30)



卒業証書(M36)



学校の記録



M42増築校舎の鬼瓦



大正時代の学歴簿



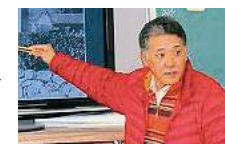
新しい仲間との出会い

本校の前身は、明治6年にできた第十番中学区第44番小学穂原学校に遡る。明治14年には現在の千両保育園付近に千両尋常小学校が開校し、昭和53年に現在の位置に移転した。移転時に校区が拡張し、150名の児童が編入した。同時に、東部中学校区から中部中学校区にもどった。児童数は、昭和56年の397名を最多として、徐々に減少し、平成27年7月末現在で113名となっている。外国籍児童が多いのも本校の特徴の一つである。豊川市の北部に位置し、自然に恵まれた環境である。学校の北側には台の山があり、展望台からは三河湾が見える。「新入生を迎える会」や生活科・理科などの授業でも利用する。

「学校の歴史を学ぶ会」から

山本清氏(S15年度卒)、真河則男氏(S54年度卒)を講師としてお招きした。それぞれ、戦時中の様子、学校移転当時の様子を中心として、小学生時代の思い出をお話いただいた。

- ・せんそう中は食べ物が多かったなんて、かわいそうだと思います。(3年生児童)
- ・くわがたを赤白ぼうしに入れてかぶったなんて、びっくりしました。教えていただいた「ふるさとの話 千両」という本を、読んでみたいです。(4年生児童)



牛久保小学校



校章の由来

牛久保城主牧野家の家紋である「三つ柏」に校名の「牛」を組み合わせたもの。外の三つの輪は「三河」の象徴。外枠は「八咫の鏡」で平和を表す。昭和15年頃制定。

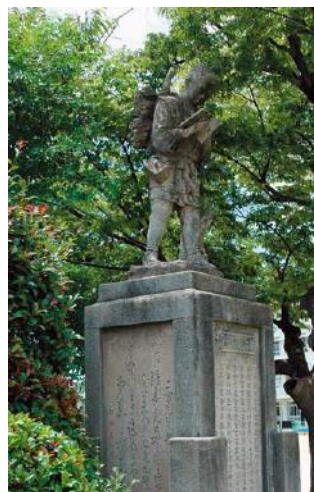
- 1873 (明 6) 愛知県第10番中学区第42番小学牛久保学校を東勝寺本堂に設置
- 1876 (明 9) 愛知県第10番中学区第119番小学牛久保学校となる
- 1878 (明11) 愛知県宝飯郡第19学区牛久保学校となる
- 1881 (明14) 東勝寺西側に校舎を新設
- 1885 (明18) 宮島学校と鍛冶学校を廃止し、牛久保学校に統合
- 1887 (明20) 愛知県宝飯郡尋常小学牛久保学校となる
- 1892 (明25) 愛知県宝飯郡牛久保町立牛久保尋常小学校となる
- 1907 (明40) 愛知県宝飯郡牛久保尋常小学校となる
(義務教育6年制となる)
- 1911 (明44) 牛久保町大手(現在地)に1棟4教室を新設
- 1914 (大 3) 愛知県宝飯郡牛久保尋常高等小学校となる 高等科を設置
- 1927 (昭 2) 講堂竣工
- 1941 (昭16) 愛知県宝飯郡牛久保国民学校となる
- 1943 (昭18) 愛知県豊川市牛久保国民学校となる(豊川市の誕生)
- 1947 (昭22) 豊川市立牛久保小学校となる(学制改正で6・3制となる)
- 1950 (昭25) 木造2階建て西校舎完成 校地拡張
- 1958 (昭33) 鉄骨3階建て東校舎(2棟)完成
- 1960 (昭35) 校歌が制定される
- 1961 (昭36) プール竣工
- 1966 (昭41) 新校舎鉄筋3階建て(3棟)完成
- 1974 (昭49) 天王小学校が分かれ児童数が減る
- 1980 (昭55) 管理棟鉄筋4階建て(1棟)完成 体育館完成
- 1981 (昭56) 日本初等理科教育研究大会全国大会 「壁書の碑」建つ
- 1993 (平 5) 講堂解体工事
- 2000 (平12) 多目的ホールを備えた新校舎完成 「大手舞台」「牛小歴史の小道」完成
- 2003 (平15) 「自然のふる里 牛小パーク」(ひょうたん池、アゲハの小道、くすのき橋)完成
- 2011 (平23) 若葉祭への「子ども笹踊り」参加(以後継続)
- 2013 (平25) 阪之上小学校児童訪問・交流(26も実施)



東勝寺西側の校舎



講堂記念テレカ H5



日本で2番目に古い二宮金次郎像



終戦直後の学級写真(S22)



140周年航空写真(H25)



長岡市立阪之上小学校との交流(H26)



副読本の作成(H26)



かしわ座(郷土資料館)

一 はるかに望む 赤石に
くれない燃える 朝の空
希望の光が みちている
ああ 牛久保の
よい子ら われら
みんな元気に 学んで行こう

二 銀杏黄葉に 照り映えて
山は夕やけ 茜雲
楽しい明日が 待っている
ああ 牛久保の
よい子ら われら
みんな仲よく 励んで行こう

三 歴史はえある 三つ柏
匂うしるしの ゆかしさよ
目ざす行手を 照らして
ああ 牛久保の
よい子ら われら
まことの道を 進んで行こう

本校は、明治6年に牛久保の東勝寺本堂を教室として誕生したのがはじまりで、今年で創立142年になる。大正2年に現在地(牛久保町大手)に新しい校舎を建て移転した。昭和2年には講堂が建ち、昭和36年にはプールができた。児童数は、多いときは2000名を超えたが、昭和49年に天王小学校ができて、962名に減った。現在は380名である。昭和56年には、日本初等理科教育研究大会全国大会が開かれた。平成21年から地域学習を積極的に進め、6年生は地域の祭り「若葉祭」に参加している。かつて牛久保を治めた牧野家にかかわる新潟県長岡市立阪之上小学校とも交流し、平成25・26年と児童の代表が訪問した。

みつがしわ学習(総合的な学習の時間)

みつがしわ学習や生活科で地域のことや学校の歴史などを学んでいます。4年生は「校章」「二宮金次郎」などを調べ、地域の方から学校の歴史についてお話を聞きます。昔の「校歌」も見つけて発表しました。

5年生は若葉祭を調べ、学習発表会で笹踊りやヤンヨー神の踊りを披露します。平成23年度からは本物の若葉祭にも参加しています。

6年生は牧野家について詳しく追究し、長岡市立阪之上小学校と交流したり、牧野祭に参加したりしました。学習発表会では、これらの学びを生かして「米百俵」を演じます。

牧野家や若葉祭、学校の歴史について、地域の方々からいろいろと教えていただいています。



中部小学校



校章の由来

中央に校名の略称「中小」を配し、周りを稲穂で囲んで「川」を表し、豊川市の市章と同じ4つの片仮名「ト」で包んでいる圖案

校区の変遷

創立当時の校区は、牛久保町（高見・焼野・代田・新切・金屋橋）と市田町（諏訪）。昭和26年に金屋町赤代地区も校区となる。戦後の復興に伴い児童数が増加し、昭和49年には1804名となる。翌昭和50年、諏訪1・諏訪2・新道1・新道2地区が代田小へ。昭和51年、金屋橋町・赤代町が金屋小へ移り、現在の校区となる。

中部小学校 校歌
 永見 貞三 作詞
 大田登志雄 作曲

一 平和の鐘に たくましく
 よみがえる町 豊川の
 新たな時が 生み出した
 ぼくとわたしの 学び舎は
 その名も中部 中部小学校
 二 文化の花に うるわしく
 栄えゆく町 豊川の
 大きな夢に 育ちます
 ぼくとわたしの 学び舎は
 その名も中部 中部小学校
 三 民主の旗に ほこらしく
 進みゆく国 日本の
 あすへの道を 励みます
 ぼくとわたしの 学び舎は
 その名も中部 中部小学校

- 1947 (昭22) 6・3制施行。旧海軍工廠施設部仮事務所(仮市役所庁舎)で中部小学校創立
- 1950 (昭25) 木造1階建て新校舎完成(8教室横並び)
- 1952 (昭27) 運動場拡張・整地(ほぼ現在の広さに)
- 1956 (昭31) 木造1階建て新校舎増築完了(4棟)
- 1960 (昭35) 校内音楽会開始(現在のうたごえ発表会)
- 1961 (昭36) 鉄筋コンクリート2階建て校舎完成(現在の管理棟)
- 1966 (昭41) バズ学習の研究により第10回学研賞受賞
- 1967 (昭42) 創立20周年記念事業で校歌制定
- 1968 (昭43) 鉄筋コンクリート3階建て校舎完成(現在の1棟)
- 1972 (昭47) 体育館完成
- 1973 (昭48) 全国PTA広報コンテスト最優秀受賞
- 1975 (昭50) 代田小学校新設に伴い児童のお別れ会
- 1976 (昭51) 金屋小学校新設に伴い児童のお別れ会
- 1978 (昭53) プール完成
- 1980 (昭55) 農園開き(現在のすくすく農園)
- 1982 (昭57) 鉄筋コンクリート3階建て校舎完成(現在の2棟)
「姉と弟」像建立 ゴンドラ山のゴンドラ撤去
- 1984 (昭59) モザイク壁画完成 のびのび広場完成
- 1985 (昭60) 親子佐奈川クリーン作戦開始
- 1988 (昭63) 鉄筋コンクリート3階建て校舎完成(現在の3棟) マーチングバンド部全国大会出場
- 1989 (平 元) マーチングバンド部2年連続全国大会出場 県文化奨励賞受賞
- 1993 (平 5) 市制50周年記念ふるさと子ども劇場でミュージカル「純は光の中に」を上演
- 1996 (平 8) 創立50周年記念行事 親子観劇会
- 2001 (平13) わくわくステージ設置 平成22年に撤去
- 2005 (平17) 愛知万博童謡フェスティバル参加
- 2013 (平25) わくわくフルーツの森完成



旧庁舎を利用(S22)



当時の新校舎(S26)



創立当時の1年生(S22)



学芸会(S34)



佐奈川クリーン作戦(S61)



マーチングバンド全国大会(H元)



うたごえ発表会(H26)



「姉と弟」像(S57)

本校は昭和22年4月、旧豊川海軍工廠施設部仮事務所(仮市役所)を校舎として創立した。創立当時は、児童812人に対して、先生が5人しか集まらず、午前・午後の2部制で授業を行った。家から木箱を持参して机代わりとしたり、持ち寄った材料で給食を作ったりして学校を運営した。昭和31年に木造校舎の増築が完了し、学校環境が整った。

音楽活動が盛んで、昭和60年代にはマーチングバンド部が全国大会に連続出場した。また、昭和35年から始まった「音楽会」は現在でも「うたごえ発表会」として受け継がれ伝統ある行事となっている。

「中小の歴史を学ぶ会」

卒業生の方から創立当時のお話を聞いて、昔は机も何もないのに、自分たちで考えてりんごの箱などを机にして工夫しながら勉強していたすごいと思いました。昔があるから、今の学校があり、私たちが勉強できているんだなと思いました。(6年児童感想)

八南小学校



校章の由来

校章は、校名の「八南」の漢字を縦に配置し、図案化したものである。

八南マーくん



校訓「たくましく 考え深く 思いやりのある子」

- 1872 (明 5) 市田・千両・八幡・平尾・財賀の5村を連合し、松永寺に「育英館」を開校
- 1874 (明 7) 穂原学校と改称
- 1876 (明 9) 市田学校と改称
- 1877 (明10) 八幡村分離して八幡学校を国分寺内に設置
- 1886 (明19) 八幡学校、平尾学校の分校となる
- 1892 (明25) 八幡学校を八幡尋常高等小学校と改称
- 1904 (明37) 市田学校を市田尋常高等小学校と改称
- 1907 (明40) 八幡尋常高等小学校と市田尋常高等小学校を合併し、八幡南部尋常高等小学校と改称
- 1911 (明44) 本校舎新築落成式挙行
- 1917 (大 6) 就学出席成績優等につき知事より表彰
- 1918 (大 7) 本校に実業補習学校を附設
- 1930 (昭 5) 八幡南部尋常高等小学校と改称し、愛知県八幡公民学校を併設
- 1937 (昭12) 講堂落成記念学芸会
- 1941 (昭16) 八幡村南部国民学校と改称
- 1943 (昭18) 校舎増築、豊川市立八南国民学校と改称
- 1946 (昭21) 愛知第二師範学校代用附属国民学校に指定
- 1947 (昭22) 豊川市立八南小学校と改称、学校給食開始、コア・カリキュラムの実践校として県により認定
- 1954 (昭29) 運動場拡張、学校文集「土の子」第1号発行
- 1959 (昭34) 校歌制定、南校舎移転、校庭の松を移植
- 1964 (昭39) 東京オリンピック聖火送迎
- 1966 (昭41) 開校60周年記念式、正門に松を植樹
- 1968 (昭43) 「ろろんとこだまするもの」第1号発行
- 1974 (昭49) 北校舎完工、親子テレビ設置
- 1978 (昭53) プール・体育館・体育倉庫完工
- 1980 (昭55) 北校舎増築完工
- 1983 (昭58) わんぱく山完成
- 1993 (平 5) 「八南っ子5つの約束」を全校集会で唱和するようになる
- 2011 (平23) 八南小マスコット「八南マーくん」誕生
- 2014 (平26) 校舎増改築工事(～H27)



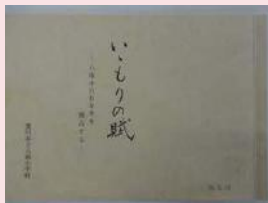
育英館(松永寺)



木造校舎の頃(T3)



講堂建築(S12)



記念誌「いもりの賦」



校舎増改築(H27)

校歌	
三 青くひかる雲 秋ぞらにながれて そよ風は梢にささやく 池の面にさざなみゆらぎ ああわれらわれら 希望あふるる 精進の聖し学園	二 白くしぶく雨 せせらぎに消ゆれば 夏虫は草間にささめく 月しらむ畑中みちを ああわれらわれら 幸福あふるる 愛の灯の明し学園
一 みどり萌ゆる野に 種々の花咲き 色鳥は小枝にささやく 飯盛の丘辺に立ちて ああわれらわれら よろこびあふるる 平和の樂し学園	作詞 大伴 傑人 作曲 永見 貞三

本校の歴史は、明治の学制発布に先立ち、明治5年に市田の松永寺内に設置された「育英館」に始まる。その後、市田尋常小学校、八幡南部尋常高等小学校と改称された。さらに先の大戦中には、八幡村南部国民学校と改称され、戦後は八南国民学校となり、児童数は昭和21年には最大の818名となった。昭和22年に現在の校名になってからの児童数は、時代とともに増減を繰り返してきた。しかし近年、豊川市民病院の校区内への移転や八幡町の大規模な宅地化の影響などから、全国的な少子化の流れの中でも児童数は増加傾向にある。

「八南小学校の歴史を学ぶ会」

講師 ● 今泉孝之氏(元校長)
 石川勝之助氏(OB)

今日は、おじいちゃんやおばあちゃんからも聞いたことのないことをたくさん聞いて、勉強になりました。太平洋戦争のことやその当時の八南小学校の様子、昔の道具のことや家での生活の様子、4年生の時「はてなん」(総合的な学習)で勉強した地域の偉人、曾田梅太郎先生のエピソードなども聞かせていただき、とてもためになりました。そして、もっと昔の八南小学校のことや戦争のことを調べてみたいくなりました。(6年児童)



「学び舎学習会」(教員対象)

講師 ● 一ノ瀬礼三氏

八南小が愛知第二師範附属だった当時の様子や、コア・カリキュラムの具体的なお話をお聞きしました。戦後、すぐに教育研究に取り組んだ教職員の気概を感じました。

平尾小学校



校章の由来

昔から使われていた校章。校名の平を中央に配置し、稲穂で囲んだ。昭和45年頃より使用されるようになった。平尾の文字をデザインし、体操服や赤白帽に使われている。



1872 (明 5) 学制発布により市田村松永寺に仮校舎「育英館」が設置された
(平尾・財賀・八幡・市田・千両の五か村連合)

1874 (明 7) 「第10中学区内第44番穂原学校」と改称

1875 (明 8) 平尾村は分離して分校を平尾村天龍寺(仮校舎)に設立

1879 (明12) 「平尾・財賀両村立(組合)平尾学校」となる

1887 (明20) 「宝飯郡尋常小学平尾小学校」と改称

1897 (明25) 「平幡村立平尾尋常小学校」と改称

1904 (明37) 「平尾尋常高等小学校」となり現在地に校舎新築落成

1907 (明40) 「八幡西部尋常高等小学校」となる 山上運動場を竣工

1915 (大 4) 新校舎落成 校門設立 翌年に中庭溜池完成

1941 (昭16) 「宝飯郡八幡西部国民学校」となる

1943 (昭18) 豊川市制実施「豊川市立平尾国民学校」となる(校庭に防空壕)

1947 (昭22) 六三制が実施され「豊川市立平尾小学校」となる(給食開始)

1950 (昭25) 運動場拡張工事竣工 県指定体育研究発表会を行う

1956 (昭31) 新校舎落成 宿直室完成 南校舎の窓下に築山を造る

1968 (昭43) 新校舎(現校舎)建設 (校舎建設協力会結成)

1969 (昭44) 校庭整地 体育倉庫・屋外便所新設 教職員による宿直廃止

1971 (昭46) 観音山登山始まる

1972 (昭47) 校舎前舗装 岩石園完成 観察池寄贈される

1973 (昭48) 東側に校舎増築 児童会旗制定 子ども自転車置場造成

1977 (昭52) プール完工

1979 (昭54) 体育館建設 フィールドアスレチック設置

1984 (昭59) 心身障害児交流教育推進協力校として「やまびこ交流」が始まる

1986 (昭61) 子ども郵便局が大蔵大臣賞・日銀総裁賞を受賞

1997 (平 9) 西校舎改造 ヤギ飼育始まる 動物ランド完成

1998 (平10) 平尾の森整備

2009 (平21) 南校舎大規模建設 文科省「人権教育」研究指定発表



歯磨き(S10)



正門と相撲場(S8)



木造校舎(S31)



講堂にて学友会(S10)



平尾小航空写真(S32)



避難訓練と少年消防隊(S8)



学校貯金風景(S30)

「私たちの学び舎の歴史」講演会

卒業生の方の話を聞いてびっくりすることばかりでした。外にトイレがあったり、おしっこを畑へ入れて、それで育った作物を給食で食べたり、一週間おかずが同じだったり知ったのでびっくりです。紙は昔あまりなくて、石ばん・石ばくなので書くのがむずかしかったと思います。(3年児童感想)



平尾小航空写真(S45)



平尾小航空写真(H27)

本校は、学制発布により明治5年市田村松永寺に「育英館」として仮校舎がおかれたのが始まりである。その後平尾村が天龍寺に分校を設立、明治37年に現在地に移された。明治40年八幡西部国民学校と名称が変わり、昭和22年に六三制が実施され平尾小学校となった。当時の校舎は現運動場にあったが、学校裏の山を削り、そこに校舎が移築された。大正11年より歯磨きの取り組みを行っており、新聞にも取り上げられた。また、花の栽培も盛んで、パンジーやベゴニア、一人一鉢の菊づくりを行ってきた。

国府小学校



校章の由来

明治初期の学校沿革史第1号にすでにこの校章が記されていた。平和の象徴ハトが象られているが、由来は不明。

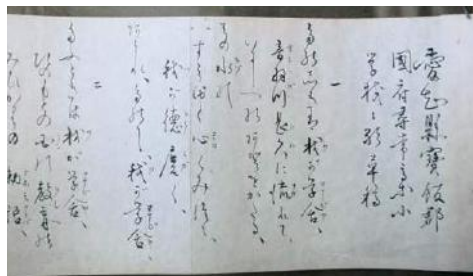
- 1873 (明 6) 第2大学区第10中学区内第43番小学国府学校と称し、国府村極楽寺の堂宇を借りて開校
- 1875 (明 8) 桜町学校を創設
- 1876 (明 9) 白鳥学校を創設
- 1879 (明12) 為当学校を創設
- 1887 (明20) 教育令の改正により、為当学校を合併し、義務教育4か年の尋常小学校国府学校と改称
- 1896 (明29) 為当を分離し、本校を国府町立第一尋常小学校、為当学校を国府第二尋常小学校と称す
- 1907 (明40) 国府第一尋常小学校、第二尋常小学校、桜町尋常小学校、白鳥尋常小学校を合併し、国府尋常小学校と称す
- 1912 (明45) 校歌完成(作詞藤村作 作曲吉田信太)
- 1913 (大 2) 寒若寺(現在地)に本校舎新築完成
- 1914 (大 3) 御大典記念行事として講堂造築
- 1941 (昭16) 国民学校令の施行により国府国民学校と改称
- 1943 (昭18) 豊川市制施行により豊川市国府国民学校と改称
- 1947 (昭22) 学制改革により、豊川市立国府小学校と改称、高等科は豊川市立西部中学校に収容される
- 1952 (昭27) 上宿地区の児童、八南小より受け入れ
- 1953 (昭28) 豊川市体育祭にて5年連続優勝なる
- 1962 (昭37) 交通安全校として県より感謝状を受ける
- 1963 (昭38) 学校給食優良校として表彰される
- 1967 (昭42) 鉄筋3階建校舎、普通教室12教室完成
- 1969 (昭44) プール竣工、兵藤秀子氏を招きプール開き
- 1970 (昭45) 本館鉄筋3階建校舎起工式、旧校舎取り壊し
- 1975 (昭50) 国府小3つの願い石碑設置
- 1977 (昭52) 講堂取り壊し
- 1978 (昭53) 屋内運動場完成
- 1983 (昭58) 第10回マーチングバンド全国大会に5年連続出場
国府小マーチングバンド、愛知県芸術文化選奨「文化奨励賞」受賞
創立百年記念式典挙行
- 1986 (昭61) 豊川市学校保健会より保健活動優良校として表彰される
第10回全国少年サッカー大会県大会優勝、県代表となる
- 1999 (平11) 愛知県健康推進学校として優秀賞を受賞
- 2007 (平19) コーカサス三国使節団視察受け入れ
NHK合唱コンクール銀賞受賞
- 2011 (平23) 人間国宝中村吉右衛門氏を招き、歌舞伎鑑賞会開催



兵藤さんの直筆色紙



吉右衛門氏の直筆色紙



明治45年にできた校歌は現在歌われている歌詞と少し違っていた。

一 楽しきは 我が学舎
音羽川 長久に流れて
古のあとをかたる
その水の
すみゆく心汲みつつ
我が徳慶く
あわれまし
我が学舎

二 尊きは 我が学舎
日の本の 国の規則の
基なす われらの憲法
その精神
朝に夕にあおぎて
我が業はげむ
あわれ尊と 我が学舎



国府小学校の開校国府村極楽寺(M6)



旧岡崎城の隅矢倉の一部を移築した校舎(M12)



寒若寺(現在地)の校舎と講堂(T12)



明治時代の卒業写真



プールができたころの航空写真(S44)



現在の国府小学校(H24)

学び舎の歴史学習会「先輩から学ぶ本校の昔」

昔の国府小学校は今とちがうところがたくさんありました。運動場は今よりも小さく、ゆうぐもなく、ボールとかであそんでいたなんてびっくりしました。学校にはプールがなくて川で泳ぐのが当たり前だったそうです。海で島まで何キロも泳ぐなんて自分にはぜったいむりと思いました。寺を学校がわりにしてべんきょうしていたことや、せんそう中は算数や国語みたいないべんきょうができなくて、外で体をきたえるじゅぎょうが多かったり、きゅう食はごはんではなくパンだったりしたことが分かりました。昔と今はぜんぜんちがうので昔より今がいいと思いました。(3年児童感想)



国府小学校は明治5年の学制発布により、翌明治6年に国府村極楽寺の堂宇を借り受けて開校した。明治40年には為当、桜町、白鳥尋常小学校と合併し、国府尋常小学校と称した。大正2年に本校舎が現在地に完成し、翌年には、まだ小学校に講堂のない時代にもかかわらず、御大典記念事業として講堂も造築された。昭和に入り、男子は剣道部が何度も日本一に輝き、その名を全国に轟かせた。女子排球部も同様に強かった。80年代にはマーチングバンド部やサッカー部が全国大会に出場するなど、文武に優れた歴史ある学校である。

桜町小学校



校章の由来

サクラの花の中に桜町の「桜」の字と、それを囲むように校章制定当時の4町内を4つの「ト」の字で表して配した図案と言われている。

校訓
よい子供
強く
正しく
明るい

- 1875 (明 8) 小田淵村淵深寺に「第128番小学桜町学校」創設
- 1913 (大 2) 国府尋常小学校分教場として現在地に校舎新築
- 1947 (昭22) 6・3制施行、桜町国民学校から桜町小学校と名前変更
- 1948 (昭23) 「水練会」大塚海岸で実施(昭32まで継続)
- 1953 (昭28) 校旗の制定
- 1954 (昭29) 講堂完成
- 1955 (昭30) 正門に「いちょう」の木を植樹
- 1961 (昭36) 鼓笛隊誕生、運動会で披露、校歌発表会
- 1963 (昭38) 桜山、リュウゼツランの車まわし完成
- 1966 (昭41) 独立20周年記念式典挙行
- 1968 (昭43) 「花いっぱい運動優良校」受賞
- 1969 (昭44) 鉄筋コンクリート新校舎完成
- 1974 (昭49) プール完成、「学校給食優良校」で県教委より表彰
- 1977 (昭52) 特別教室増築、桜山にアスレチック完成
- 1978 (昭53) 体育館完成
- 1986 (昭61) PTA総会において制服廃止決定
- 1991 (平 3) 第1回「みのりの会」開催
- 1993 (平 5) 地域合同「クリーン作戦」開始、「ごみダイエット大作戦」TV放映
- 1996 (平 8) 桜町小新生50周年記念式典挙行、友情の青い目の人形「スザンナ」贈呈
- 2002 (平14) 第1回「三世代交流会」開催
- 2005 (平17) 愛・地球博プロジェクト ヘリコプターで豪州エッセンドン小より絵画・手紙到着
- 2006 (平18) 「愛知県健康推進学校特別優秀校」受賞
- 2013 (平25) 新プール完成、イメージキャラクター「さくらまち子」誕生
- 2014 (平26) 日本PTA全国協議会より表彰



講堂落成式 (S29)



「さくらまち子」
いなりんと交流 (H26)



開校当時の学級写真 (S22)



学校日誌に残る農繁休業
の記録



航空写真 (S30頃)



開校当時の様子 (S22 ~ S23)



リュウゼツランの車まわし
(S38頃)



友情の青い目の人形「スザンナ」
贈呈 (H8)

本校は、明治8年(1875)2月、当時の小田淵村淵深寺を仮校舎とし、「第128番小学桜町学校」として創設された。その後、幾多の変遷を経て、大正2年(1913)4月、国府尋常小学校として新校舎が現在地に建てられ、以後今日まで100年余りの歴史を刻んでいる。「花いっぱい運動優良校(毎日)」、「学校給食優良校(県)」、「健康推進学校特別優秀校(県)」等の受賞の他、英語活動を推進している。平成25年度にはイメージキャラクター「さくらまち子」が誕生した。またB1グランプリがきっかけとなり、大分県日田市との交流も始まった。日田市の観光キャラクター「さんそうさん」から、「友誼之証」を受け取るだけでなく、日田市立日隈小学校との交流も続いている。

「地域の方から桜町小の歴史や思い出を聞く会」

集会では、3名の方が当時の学校生活の様子を教えてくださいました。わらじを履いて登校したこと、蛇を捕まえて売ったこと、修学旅行にお米を持っていったことなど、想像もできないことばかりでびっくりしました。

集会の最後にみんなで校歌を歌う時、「私たちの前にもたくさんの人が桜町小で時を過ごし、この校歌を歌ったんだな」と思い、胸がじんとしました。(6年女児)



御油小学校



校章の由来

外枠に「ユ」を5つ並べ「ごゆ」を、内側に「小学」をアレンジし「児童がのびのびと学ぶ姿」を表現している。豊かな環境の中でたくましく学んでほしいという願いが込められている。



- 1873 (明 6) 第二大学区第四十五番御油小学校として旧本陣(鈴木氏宅 教室25坪)を借用し開校 (教科は素読・習字)
- 1876 (明 9) 学び舎が木村氏宅(教室44坪)へ移転 遊歩場設置その後校舎ができるまで3回ほど移転
- 1879 (明12) 教育令発布 教科:読書、習字、算術、地理、歴史、修身 など
- 1884 (明17) 二階造瓦葺校舎が現在の御油保育園の位置に完成
- 1886 (明19) 尋常小学御油学校(校名変更) 小学校令発布(尋常小学校) 尋常科4年 高等科4年
- 1888 (明21) 修学旅行開始
- 1897 (明40) 尋常科6年高等科2年の御油町立尋常小学校に改名
- 1898 (明41) 学芸会・運動会開始
- 1913 (大 2) 新校舎竣工
- 1941 (昭16) 御油町立御油国民学校に改名
- 1944 (昭19) 名古屋市立古渡国民学校当所へ疎開 20年に引揚
- 1947 (昭22) 御油町立御油小学校(校名変更) 御油小学校PTA発足
- 1954 (昭29) 校歌制定発表会 東海三県図書館コンクール入選第1位
- 1955 (昭30) 完全給食開始
- 1959 (昭34) 豊川市に合併 豊川市立御油小学校に校名変更
- 1969 (昭44) 新校舎(現在の場所)に移転
- 1970 (昭45) プール竣工
- 1974 (昭49) 体育館竣工
- 1984 (昭59) 土俵開き 松並木・音羽川清掃始まる
- 1987 (昭62) 御油っ子賞制定
- 1990 (平 2) プール竣工 愛知県健康優良学校特選校
- 1991 (平 3) 愛知県健康優良学校優秀校
- 1999 (平11) 南校舎増築
- 2004 (平16) 「御油の町いきいきフェスタin松並木」に全校児童参加
- 2014 (平26) 「松並木70周年記念事業」にソーラン節(3・4年)、合唱(5年)参加



明治17年当時



大正2年当時



昭和44年当時



大正8年当時 卒業写真



昭和29年当時の学芸会



昭和45年 移転後の整備



平成6年当時 松並木フェスタin御油

宿場として栄えた御油に、明治6年11月1日、地域住民の念願でもあった学校が、現在のイチビキ豊川工場付近にあった旧本陣、鈴木氏宅を借用し、第二大学区第四十五番御油小学校として設立された。その後、移転、改名、校舎の新・改・増築などを経て、豊川市への合併後、昭和44年、児童増加に伴い校舎の移転新築を余儀なくされ、地域住民の行政への熱心な働きかけと自らの資金集めや建設予定地の開墾を経て現在の学び舎が完成した。校区が一町で構成されていることもあり、地域と深く関わりながら数多くの歴史を刻んできた。

地域の方に学ぶ会

3年生の社会科「かわってきた人々の暮らし」の中で、戦後間もないころ本校に通っていた角田さん、学び舎の移転当時本校に勤務されていた福田さんに、その当時の学校生活の様子について語っていた。

「わたしの知らないことがたくさんわかりました。むかしは、給食でクジラのお肉を食べていたなんていいなあと思いました」(女兒)



天王小学校

校章の由来

「天王」の天の字を図案化したもの。天王の子
どもが、天に向かって力いっぱい両手を伸ばし、無限の発展を示すと同時に足を大地に踏ん
張って力強く立ち上がった姿を表している。



さんごじゅの親子植樹(S49)

一 真清水の田井の裾わに
葉濡れ日の影さすところ
花吹雪あやにみだれて
新たなるちからみなぎる
生命のさと 若き天王

二 大曲の淀の青江に
吉祥の暮れゆくところ
草の穂に夕月さえて
永遠のめぐみ絶えせぬ
希望のさと 深き天王

三 そのかみの穂の国原に
豊川の逝き廻むところ
黄金なす垂穂ゆらぎて
感謝のまことあふるる
精神のさと 清き天王

- 1974 (昭49) 豊川市立天王小学校 創立
- 1975 (昭50) プール完成
- 1976 (昭51) 実習田活動開始 全校で田植えを始める
収穫祭(天王まつり)開催
- 1977 (昭52) 天心ランド オープン
マーチングバンド全国大会参加
- 1978 (昭53) 天王山 オープン
全日本健康優良学校 日本一 受賞
- 1979 (昭54) ブラジル・タボン学園と姉妹校縁結び
全日本健康教育発表会 開催
- 1981 (昭56) 中国・城美鎮第一小学校と作品交流
- 1982 (昭57) 三好町立天王小学校と姉妹校提携
天王まつりに三好天王小を招待
- 1983 (昭58) 開校10周年記念式典 開催
- 1984-1985 マーチングバンド全国大会連続出場
(昭59-60)
- 1986 (昭61) 生活テーマ塔 建立
- 1992 (平 5) 豊川市子ども劇場「豊川放水路物語」上演
開校20周年「天王まつり」開催
- 1999 (平11) 「ましみずの里 天王」 設立
ホタルの幼虫 初放流
- 2000 (平12) わくわく生き生き事業「天王の里」当選
地域・親子作業で、天王川、蒼の池をつくる
- 2002 (平14) 小学校・校区民合同運動会として開催
- 2003 (平15) 開校30周年 記念講演会 開催
「天王まつり」学校の日 行事化へ
- 2013 (平25) 研究発表会「認め合い 高め合う 天王っ子」- 思いや考えをつなぐ -
開校40周年 記念講演会開催 リーフレット発行



運動場で開校・始業式



健康優良学校表彰



校内の天王の里 看板

本校は、昭和49年4月3日に児童数454人、13学級、教職員21名、市内13番目に開設された小学校です。牛久保小学校の過大規模解消を図る目的の新設開校でした。中条・下郷地区の皆さんは、この地での小学校開校をたいへん喜び、祝ってくださいました。当時の教職員は、「胸をはって『天王っ子だ』と誇りの持てる子たちにしたい」と校内の環境・施設充実や健康・体力増進に一生懸命に取り組みました。

また、PTAの皆さんも「われらの天王小」と随所で協力してくださいました。学校の周りのさんごじゅは、開校当時の保護者・児童による1200本の植樹によるものです。今も青々としげり、天王っ子を温かく見守っています。



天心ランドと天王山(S53)



【天王小の合言葉】
今も南校舎東側に掲
げられています。
写真は初代のもの



【天王小といえば「米作り」 実習田の取り組み 天王まつり】



全校田植え作業(S51)



地域の方々への感謝の会(H26)



餅つき風景(H26)

2つの「私たちの学び舎の歴史学習会」を通して



第1回は、第3代PTA会長を務められた松井忠雄氏による「天王小のできたころの様子-「健康学校日本一」を中心にして-」のお話をうかがい、第2回は、「ましみずの里 天王」について、当時天王小の教頭先生でいらした小野正己氏からお話をいただきました。



今校庭にある木々が全然ない写真を見てびっくりしました。天王小ができて40年の間に校庭も整備されてきたことがよく分かりました。学校の周りのさんごじゅ全部が、先輩やお父さんお母さんの協力で、今こうしてあるんだなあと思いました。

健康教育日本一は、愛知県では天王小だけだと聞いて、自信がわきました。あいさつ運動を今もやっているけれど、もっともっとがんばってやっていかなくっちゃいけないと思いました。天王小の合言葉にある『やればできる』を大切にしたいと思います。
(児童ふり返り)

天王小学校に入学した時にすでに「ましみずの里」があって、あおの池があったりしたので、「ましみず」がどういう意味なのかも分かっていませんでした。今回のお話でよくわかりました。あおの池やましみずが通る水路などが、本当にたくさんの人々の力でできたんだなあと思いました。天王の誇りなんだと思いました。みんなで守っていこうと思いました。

すごくきれいな水が天王の周りがあると知ると、とてもいい環境だなあと思いました。かけがえのない財産だと思う。
(児童ふり返り)

代田小学校 **代**

校章の由来

デザインは畑邊先生
「代」の字をデザインしたもの

デザインのポイント

- 清新フレッシュであること
- 堅実、地についていること
- 良識あるスマートさ
- 現代にマッチしている
- 長く年代に耐えられる

- 1975 (昭50) 4月3日 中部小、桜町小、八南小より合計846名で開校
- 1976 (昭51) 5月7日竣工、7月20日プールの完成
- 1977 (昭52) 校旗・副校旗の完成
- 1978 (昭53) 校歌「みんな友だち」の誕生
- 1980 (昭55) 児童会が中庭のやまももの木に「思いやりの木」と命名
校舎増築工事(北校舎東側6教室)
- 1983 (昭58) 東海三県学校図書館奨励賞受賞、サッカー市内大会優勝
- 1984 (昭59) 第1回学習発表会を開催、創立10周年記念式開催
- 1989 (平 1) ビッグアート作品で文部大臣奨励賞・コニカ賞受賞
- 1990 (平 2) マーチングバンド中部大会へ出場
ジャングルジム・コンビネーション設置
- 1991 (平 3) 第1回外国人児童の保護者会開催
- 1992 (平 4) インターナショナルルームの設置
- 1993 (平 5) 市制50周年事業ふるさと子ども劇場で「ああ、豊川海軍工廠」を上演
- 1994 (平 6) わかしやち国体豊川会場でマーチングバンドが演奏
- 1995 (平 7) 豊川市被爆50周年を迎え、市文化会館で「ああ、豊川海軍工廠」を上演
- 1997 (平 9) 外国人子女教育について文部省の視察訪問、ベルマーク収集で百万点達成
- 1998 (平10) 外国人児童生徒教育受入れ推進地域のセンター校に指定、国際交流集会の開催
- 1999 (平11) 総合的な学習として運動会で保護者・児童が豊川観光音頭を披露
- 2000 (平12) 第1回代中校区、クリーン作戦開催
- 2001 (平13) 楽しい子ども食育推進事業で5年生が学校田を開墾、食生活を発表
- 2003 (平15) 小動物飼育施設「なかよしランド」完成
- 2004 (平16) 創立30周年を記念して、市文化会館で学習発表会を開催
- 2005 (平17) 第1回アミーゴ集会の開催
- 2008 (平20) ブラジル人の先輩から学ぶ会の開催(5、6年生)
- 2012 (平24) ベルマーク収集で二百万点達成
- 2014 (平26) 創立40周年記念講演会開催(辻悦男初代PTA会長)、航空写真撮影

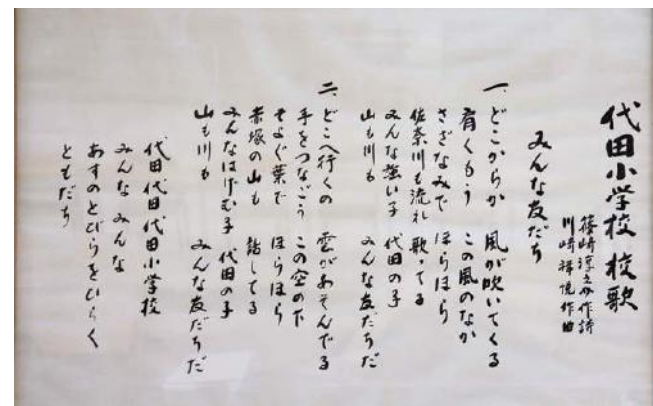
本校は、昭和50年に豊川市内で14番目の小学校として開校し、今年で41年目を迎えた。児童数は473人、そのうち23人が外国籍児童である。外国籍児童の数は平成8年には71名となり、平成10年には外国人児童生徒教育受入れ推進地域センター校になった。平成17年から愛知万博を契機に、毎年、国際理解教育の一環として外国籍児童が中心となってアミーゴ集会を開催している。また、平成5年に市制50周年を記念して、ふるさと子ども劇場で「ああ、豊川海軍工廠」を初めて上演した。平成7年に豊川市被爆50周年を迎え、市文化会館で2回目の上演を行った。以後、毎年6年生が代田小の伝統劇として、学習発表会で上演している。



開校当時の風景 (S50)



諏訪駅前をマーチング演奏(H2)



開校式にのぞむ全校児童(S50.4)



校歌「みんな友だち」誕生(S53)



第1回「ああ、豊川海軍工廠」上演(H5)



豊川市被爆50周年
第2回「ああ、豊川海軍工廠」上演(H7)

学び舎の歴史学習会「代田小の40周年」

開校当時、代田砂漠と呼ばれた運動場。ひよろひよろだった、思いやりの木。当時の写真を見て想像もできなかった景色に驚きました。今では、代田砂漠は過ごしやすい運動場に、思いやりの木は、とても太く大きな木へと変わりました。こうして代田小で気持ちよく過ごせているのは、多くの方々の苦勞があったからだと思います。(6年児童感想)



第1回アミーゴ集会(H17)



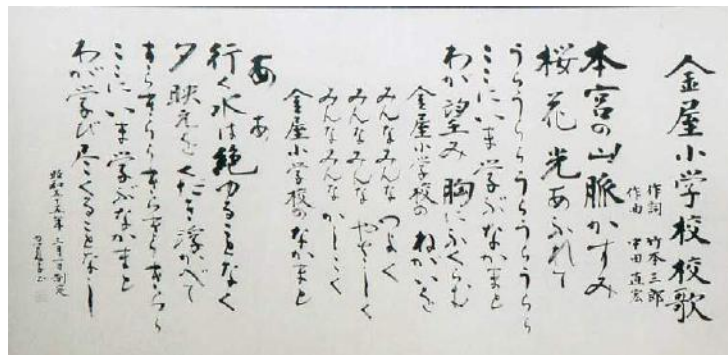
創立40周年記念全校人文字(H26)

金屋小学校



校章の由来

金屋小の「金」の文字を図案化したものです。昭和60年(開校10周年)に変更された二代目の校章です。



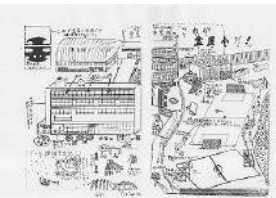
- 1976 (昭51) 豊川市立金屋小学校開校式 校旗完成
縦割りグループ遠足開始
- 1977 (昭52) 体育館・プール完成 ロングラン授業実施
- 1979 (昭54) 「児童会の歌」発表
- 1980 (昭55) 校歌「なかまと」制定 校内に竪穴式住居完成 布目瓦焼き体験
- 1982 (昭57) 金小通学団が交通安全功労者表彰
- 1983 (昭58) 東三サッカー大会で優勝 鉛筆削り大会テレビ放映(中京テレビ)
- 1984 (昭59) 豊川市内水泳大会で二連覇
- 1985 (昭60) 敷地拡張でいこいの森・日時計・観察園完成
- 1989 (平 1) 「児童会環境美化活動」豊川市長より感謝状 敷地内ジャングルジム完成
- 1990 (平 2) 記念誌「生きる力と」発行 のっぽ時計・どんぐり山・ビッグアート設置
- 1991 (平 3) 「体力づくり優良校」として愛知県より表彰
- 1993 (平 5) PTA主催の七夕集会始まる
- 1997 (平 9) 廃品回収段ボールよりC棟火災発生
- 1998 (平10) 敷地内のボプラ伐採・どろんこ農園移転
- 1999 (平11) コンピュータ教室完成 ジャンボカルタ拾い集会実施
- 2001 (平12) 図書室を改修 読書タイムが始まる
- 2002 (平14) 受水給水設備・校舎壁面工事実施 小中連携授業実施
- 2003 (平15) 読み聞かせ・教育活動支援ボランティア活動開始
- 2006 (平18) 体育館耐震工事 防犯カメラ設置 ブロアー室アスベスト撤去
- 2008 (平20) 市小学校球技大会アベック優勝
- 2009 (平21) ガラス飛散防止フィルム貼付 各教室地上デジタルTV設置 校舎耐震工事
- 2010 (平22) 地域クリーン作戦・交歓レクリエーション開始
- 2011 (平23) 自転車教室県免許センターで開始
- 2012 (平24) マラソン大会豊川市陸上競技場で開始



校旗と初代校章



どろんこ農園(H3)



第1回卒業文集鳥瞰図(S51)



近代的な校舎で開校 モダンな鉄筋4階建て・2階の玄関(S51)



校訓
「つよく
やさしく
かしこく」



日本文化のよさを継承し、親子ふれあい・地域交流を深めた七夕集会(S60)



児童会環境美化活動で感謝状(H元)



「生き生きわくわく事業」
図書室改修(H12)

「金屋小の様子を聴く会」

第1回卒業生●大久保昌良様

子どもの人数など現在とは大きく異なる部分もありましたが、大久保さんが金屋小学校に愛着をもっていらっしやること、そして現在の私たちも同じ気持ちをもっていること、それは変わらないと感じました。校舎など以前からあるものにありがたみを感じていませんでしたが、今日のお話をお聴きし、改めて伝統がある大切なものだと感じました。私たちは、大久保さんのように金屋小学校を思ってくださる方が多くいることを忘れず、生活していかなければならないと感じる良い機会となりました。(本校教諭感想)



昭和51年4月、豊川小・中部小の過大化解消のために新設された、旧市内で2番目に新しい小学校である。旧豊川小校区の金屋町、金屋元町、金屋本町、若鳩町、中央通、千歳通、末広通、駅前通、旧中部小校区の赤代町、金屋橋町、金屋西町、中央通、諏訪の一部に、現在は穂ノ原を含めた地域から、542人の児童と教職員21名が集まり、開校した。運動場の石拾い、PTAと共に汗を流した環境整備作業など、学校と家庭や地域が一体となって新しい学校づくりに励んだ。

学校は市のほぼ中心に位置し、校区は市役所に隣接して、中央を東西に姫街道が通っている。敷地のすぐ東側には佐奈川が流れ、堤防上には桜並木が続き、四季折々の変化が見られる豊かな環境の中にある。

豊小学校 ゆ

校章の由来

校章は心豊かにの「ゆ」と、仲良く腕を組み協同して助け合う子どもの姿を示している。開校当時の職員によってデザインされた。



校歌楽譜原本

豊小学校 校歌
われらゆたかの子
つらなる峰の湧く雲へ
大きな希望えがきつつ
豊かな心 ゆたかの子
語らい 睦み 育ちゆく
ゆたか ゆたか われらゆよし
緑の丘の学び舎に
あふれる笑顔生き生きと
たくましいからだ ゆたかの子
雄々しく 強く われら健やか
ゆたか ゆたか われら健やか
青史に香る故郷の
恵をうけてひとすじに
かしこい知性 ゆたかの子
たゆまず 求め 磨きゆく
ゆたか ゆたか ああ
われら励まん 豊小学校

1982 (昭57) 豊川市立豊小学校開校
第1回入学式
プール完工式・総合完工式
フィールドアスレチックオープン式
第1回卒業式



豊小学校開校

1983 (昭58) 花を育てる豊っ子の像除幕式
1984 (昭59) キュパティーン使節団来校
1986 (昭61) 校歌「われらゆたかの子」制定
1987 (昭62) 研究発表会「学ぶ喜びのある授業」
1989 (平元) 郵便ポスト贈呈式
1990 (平2) 運動場南に藤棚設置(十周年記念)
1991 (平3) 創立十周年記念式
1992 (平4) 飼育小屋完成
1993 (平5) 市制五十周年ふるさと子ども劇場発表(文化会館)
1994 (平6) 研究発表会「身近な問題を主体的にとらえ みがき合う子」
1998 (平10) 北館校舎増築完工式
1999 (平11) 第1回芋煮会(PTA主催) ゆたか賞(善行表彰)始まる
2000 (平12) 「豊小学校を育てる会」発足 稲刈り(5年)
2001 (平13) 運動会で「豊川音頭」「豊川観光音頭」が始まる



第1回卒業式

創立二十周年記念式
ピオトープ完成
ゆたかっ子広場完成
2002 (平14) 炭焼き窯設置
2003 (平15) 研究発表会「生きる力を育てる教科指導」
2004 (平16) 投てき板完成
2011 (平23) 開校三十周年記念式
2013 (平25) プール改装
2014 (平26) 研究発表会「自分が好き 友達が好き 共に伸びゆく豊っ子」～対話する喜びを感じながら～

本校は、豊川市内で最も創立の新しい学校である。豊川小学校の適正規模化を図るために、1982年に開校した。児童数は開校当時619名であった。平成に入り児童数が減少し、2015年現在は全校439名である。2011年には、開校三十周年記念式が開催された。



開校当時の豊小学校

理想に燃えていた開校当時の豊小学校

すばらしい学校を作ろうと、当時の子どもたちも先生方も理想に燃えていた。

- 校歌は初代校長熊谷先生の作詞である。
- 校章は開校当時の職員によりデザインされた。
- 新しい学校に木を植えようと、職員によって杉がプール横に植えられた。苗木は天皇陛下が全国植樹祭で種を蒔かれたものである。
- 少しでも緑を増やそうと、子どもたちによって一人一鉢運動が行われた。
- 春にこいのぼり運動会があった。



新しい伝統を作ろうとしてきた豊小学校

地域のみなさんの協力を得ながら、新しく豊小の伝統といえる文化を作ってきた。

- 毎年11月には、育てる会の方の協力のもと全校児童とその保護者と一緒に会食する芋煮会を開催している。
- 運動会では、地域のみなさんとともに、「豊川音頭」「豊川観光音頭」を踊っている。



「豊小開校当時のことを学ぶ会」

講師●横山 忠行先生

お話を聞いて、開校当時は、児童・職員全員が豊小を発展させるため努力をしていたことが分かりました。これからも豊小を大切にしていきたいです。(6年児童感想)



「芋煮会のゆらいを学ぶ会」

講師●安藤 求先生

芋煮会が豊小の大切な行事だと分かったので、作ってくれた人に感謝の気持ちをもって味わって食べたいと思いました。(6年児童感想)

毎年やってきている「豊小を育てる会」の方たちには、とても感謝しなければいけないと思いました。(6年児童感想)

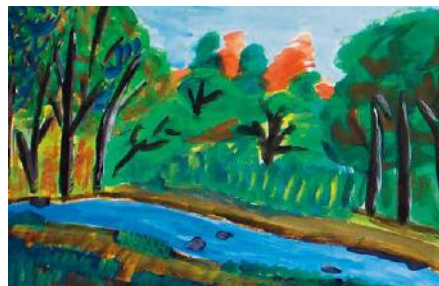


一宮東部小学校



校章の由来

校区のシンボル本宮山と豊川を背景に、一宮を図案化した校章です



写生会の優秀作品(S32)
上から3年、4年、5年

校歌
一 春りよう乱の麓原
赤くかがやくつじ花
そそり立ちたる本宮は
若き緑に栄ゆなり

二 秋 玲瓏の月さやか
吉祥山をはなれたり
水に映りしその影は
濁りに染まぬ我が友よ

三 山川の秀 今ここに
こりてぞ集う我が友よ
睡みも堅くいざやいざ
学び極めんもろともに



長山遊園地の行事(S15) 樹林舎刊
「豊川・新城・蒲郡・北設の昭和」より



学芸会の演技(S30)



電車通学の登校風景(S45)



全校での本宮山遠足(H26)

- 1871 (明 4) 一宮義校創立
- 1872 (明 5) 一宮学校と改称 江島に分学校設置
- 1874 (明 7) 東上と上長山に分学校設置
- 1891 (明24) 東上小学校創立
- 1893 (明26) 江島小学校創立 上長山小学校創立
- 1907 (明40) 一宮東部尋常小学校創立
- 1911 (明44) 新築木造校舎落成
- 1915 (大 4) 高等小学校を併置
- 1930 (昭 5) 東西補修学校合併
- 1935 (昭10) 一宮村立男子青年学校開校
- 1938 (昭13) 江島橋竣工 江島分学校廃止
- 1940 (昭15) 二宮尊徳先生銅像除幕式
- 1947 (昭22) 一宮村立一宮東部小学校と改称 高等科廃止
- 1950 (昭25) 新校舎落成(木造南校舎)
- 1954 (昭29) 学校図書館設置
- 1957 (昭32) 開校五十周年記念式 校旗制定
- 1960 (昭35) 完全給食開始 新校舎竣工式(南校舎)
- 1965 (昭40) 新校舎二期工事竣工式
- 1968 (昭43) プール竣工式
- 1971 (昭46) 体育館竣工式
- 1973 (昭48) 宿日直廃止
- 1980 (昭55) 新校舎竣工式(北校舎)
- 1993 (平 6) 児童の制服自由となる
- 2000 (平12) みどりの少年団結団式
- 2006 (平18) 豊川市立一宮東部小学校と改称



江島橋竣工式(S13)



木造校舎の鬼瓦(S25)



新校舎竣工式と餅投げ(S35)



校訓の石板

本校は、校区にそびえる本宮山と豊かな流れの豊川に囲まれた、自然豊かな学校である。江島橋ができ、江島の分学校が統合されて、今の一宮東部小学校になった。校区が広いために、飯田線を使って電車通学が行われた時期もあった。地域では節目ごとに本宮山に登る伝統があり、そうした思いを大切にしながら、全校での本宮山遠足に取り組んでいる。何ごとにも誠実に取り組む校風は、校訓である「正しく」「強く」「明るく」を守り伝えてきた証しといえる。



給食の様子(S34)

学び舎の歴史学習会

地域の方から学ぶ会「昔の子どもたちの生活」

六十年前は、どのような学校生活だったのかを、具体的に教えていただきました。メンコやカッチン玉等、子どもたちには、初めて聞く遊びもあり、とても楽しい時間がありました。ペットボトルのふたの上でのこま回しでは、拍手が鳴りやみませんでした。

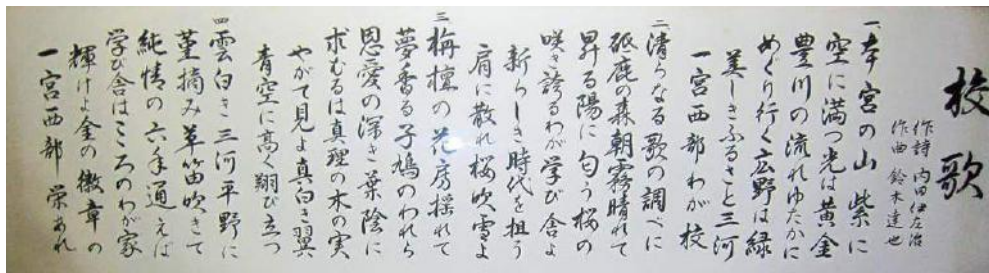


一宮西部小学校



校章の由来

「一宮」の「一」、「西部」の「西」を図案化したもの。校旗には、「一宮」を図案化したものが使われている。



- 1907 (明40) 小学校令改正(3月8日) 一宮西部尋常小学校創立(桑富第1・桑富第2・桑富第3小学校を合併)
- 1908 (明41) 修学旅行(蒲郡)開始
- 1909 (明42) 第1回卒業式(34名)
- 1915 (大 4) 一宮西部尋常・高等小学校と改称
- 1919 (大 8) 農繁休業開始(5日間)
- 1922 (大11) 本宮山登山、第1回東部西部連合運動会
- 1927 (昭 2) アメリカ人形「エリザ嬢」来校、「ミスアイチ嬢」出発
- 1939 (昭14) 東三河体操大会5年以上参加(豊川グランド)
- 1941 (昭16) 一宮村立一宮西部国民学校と改称
- 1946 (昭21) 学校給食(副食)始まる
- 1947 (昭22) 一宮村立一宮西部小学校と改称、粉乳給食、鯨肉配給
- 1950 (昭25) 木造2階校舎竣工、修学旅行再開(伊勢・鳥羽)
- 1954 (昭29) 海浜学校開始(大塚海岸)、完全給食実施、豊橋産業博覧会見学
- 1955 (昭30) 一宮西部小学校校歌制定
- 1957 (昭32) 制服制定(PTA総会で)
- 1961 (昭36) 一宮町立一宮西部小学校と改称、鉄筋2階本館(南校舎)竣工式
- 1964 (昭39) 学校プール竣工式
- 1966 (昭41) 鉄筋2階校舎(中校舎)竣工式
- 1969～1971 (昭44～46) 花いっぱい運動表彰
- 1972 (昭47) 体育館・体育倉庫竣工式、マーチングバンド発足
- 1977 (昭52) 鉄筋3階北校舎(第1期工事)・南校舎増築(放送室・図書室)完成
- 1978 (昭53) 大松枯死伐採(樹齢140年)
- 1987 (昭62) マーチングバンド全国大会出場(日本武道館)
- 1994 (平 6) 一西小交通少年団結成
- 2005 (平17) 一宮町が豊川市に編入合併、豊川市立一宮西部小学校と改称(平18.2月)
- 2006 (平18) 創立100周年記念式典
- 2014 (平26) 「私たちの学び舎の歴史」講演会(5年生)



第1回卒業生(M42)



もちの木と黒松(S30頃)



花いっぱい運動(S44)



校旗と校章



大木火の見櫓より(S26)



卒業式(S33)



初代黒松の根



学芸会(S30頃)



ラジオ体操(S30前半)

「私たちの学び舎の歴史」講演会

講師●田中良治氏(S14卒)・宇野功一氏(S30卒)

お話を聞いて私たちの一西小にはたくさんの歴史があることを知りました。昔は運動会を一宮東部小とやっていたことや北校舎が木造だったことなどがわかりました。昔の小学生は農業のお手伝いをしたり、あたたかいお弁当を食べるために工夫をしたりしていました。私たちは今楽しくらしているのだと思います。だから、今のくらしを大切にしていきたいです。(5年児童感想)



マーチングバンド全国大会出場(S62)



100周年記念航空写真(H18)

本校は明治40年小学校令改正とともに桑富第1・第2・第3尋常小学校が合併し一宮西部尋常小学校創立となった。今年度で創立109年となる。前庭には、学校のシンボルツリーもちの木があり、対になって樹齢130年以上の大松(黒松)もあったが、昭和53年に枯死伐採され、現在は玄関の衝立として残っている。以前は、マーチングバンドの活動が盛んで、昭和62年度には全国大会に出場している。また、花壇作りにも力を入れており、昭和44～46年度には花いっぱい運動で表彰を受けた。平成18年度には創立100周年の式典が盛大に行われた。児童数は、創立当時253名で、昭和58年度に最多の802名となり、現在は578名である。

一宮南部小学校



校章の由来

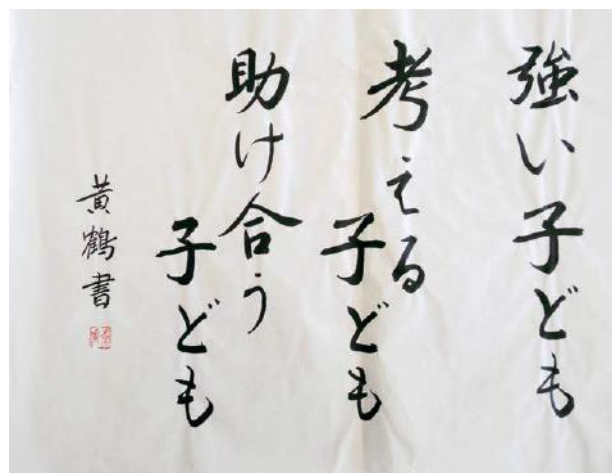
一宮の「一」に、南部小の「南」を合わせたものを圖案化した。真ん中に大きな「幸」の文字が見える。

本校の校訓は、「強い子ども 考える子ども 助け合う子ども」である。玄関に飾ってある書(写真下)は日本書道副会長であった稲垣黄鶴の書である。昭和51年、黄鶴が稲垣氏の菩提寺であった長慶寺に自詠の句碑を建立した際に「開校した本校に書を」と依頼し、書いていただいた。

一 本宮山の 若い風
胸いっぱい 吸い込んで
心と体 鍛えよう
ぼくら わたしら
みんなが ひとつ
一宮南部小

二 豊川清く 光る風
腹いっぱい 吸い込んで
まことの道を 求めよう
ぼくら わたしら
みんなが ひとつ
一宮南部小

三 三河野わたる 青い風
体いっぱい 吸い込んで
学びの世界 極めよう
ぼくら わたしら
みんなが ひとつ
一宮南部小



教育目標:PTA寄贈(H24)



開校式(S51)



PTAによる飼育小屋づくり(S55)



親子キャンプ(S60)

- 1976 (昭51) 宝飯郡一宮町立一宮南部小学校開校式
- 1976 (昭51) 運動遊具移転設置
- 1976 (昭51) プール竣工
- 1976 (昭51) 校旗・校歌の制定
- 1976 (昭51) 国旗掲揚塔・校門完成
- 1977 (昭52) 岩石園・思い出の丘完成
- 1977 (昭52) 第1回卒業式
- 1977 (昭52) 二宮金次郎像 旧大和小・金沢小より思い出の丘へ移転
- 1977 (昭52) 第1回親子キャンプ開催
- 1978 (昭53) フィールドアスレチック(含:初代あすなろの塔)完成
- 1980 (昭55) 屋内運動場完成
- 1982 (昭57) 第33回全国学校給食研究協議大会 学校給食優良学校文部大臣賞受賞
- 1983 (昭58) 救助避難袋設置
- 1986 (昭61) 「一南小この10年」発刊
- 1988 (昭63) 校舎東側2・3階増築工事竣工式
- 1991 (平 3) 水生動植物観察池完成
- 1991 (平 3) 二宮金次郎像現在地へ移転
- 1995 (平 7) 初代あすなろの塔撤去
- 1996 (平 8) 運動場拡張
- 1998 (平10) 第1回子ども歌舞伎公演
- 2000 (平12) 第1回一南フェスティバル開催
- 2006 (平18) 豊川市と合併 豊川市立一宮南部小学校と改称
- 2006 (平18) 全国学校体育研究優良校として表彰される
- 2007 (平19) あすなろの塔再建
- 2012 (平24) あすなろの塔滑り台設置
- 2013 (平25) 第1回ふるさと一南写真展開催
- 2014 (平26) あすなろの塔撤去 会議室改装(あすなろの塔の思い出を残す)



移転中の二宮金次郎像

本校は、旧大和小学校と旧金沢小学校が統合する形で昭和51 (1976)年に開校された。今年で開校40年となる学校である。

昭和57年度には「ランチルーム形式による楽しさの生まれる学校給食」をテーマにした実践を行い、全国学校給食研究協議大会で文部大臣表彰を受けた。地元のテレビ局も取材に訪れ、楽しい給食の様子がテレビで放映された。ランチルームは現在も使われており、縦割り給食や食後タイムなど、全校児童が交流を深めることのできる場になっている。

児童数は最も多い時には216名の在籍があったが、近年は減少傾向にあり、2015年7月現在の在籍数は141名である。

学び舎の歴史学習会 「一宮南部小学校の歴史」

本校は、大和小と金沢小が統合してできた学校です。二校の名前や場所の変遷、児童数の移り変わりなどを知ることができました。また、設立当初から地域の方が深くかかわってくださっていたということを知りました。遊具や岩石園、二体の二宮金次郎像など、当時の地域の方の思いは、今も校庭に残っています。これからも、地域の方の思いを大切にしていきたいです。



遊具の移転(S51)

萩小学校



校章の由来

郷土にふさわしい「はぎ」の葉を3枚合わせ、「協力」を表している。中央に「萩」の字を小円点で囲んでいるのは、児童が萩小を中心に協力し、円満な人間形成を図る意味がこめられている。

- 1874 (明 7) 御油学校分校として開校
- 1876 (明 9) 独立して萩学校となる
- 1882 (明15) 岩田(現在地)に校舎を新築
- 1935 (昭10) 二宮金次郎石造設置
- 1939 (昭14) 学校演習林設定(杉・檜苗300本植え込み)
- 1947 (昭22) 萩村立萩小学校となる 修学旅行再開
- 1950 (昭25) 臨海学習を始める(4年以上が御津御馬へ)
- 1955 (昭30) 町村合併により音羽町立萩小学校となる
- 1957 (昭32) 鉄筋校舎竣工 総工費2815万715円
- 1963 (昭38) 萩中、萩保育園との合同運動会を始める
- 1964 (昭39) 健康優良学校特選校表彰
- 1969 (昭44) 児童のヘルメット着用開始
- 1972 (昭47) 萩子ども銀行表彰(大蔵大臣・日銀総裁賞) プール竣工(工費1300万円)
- 1981 (昭56) 萩体育館完成
- 1984 (昭59) 愛鳥活動で県知事賞・中日新聞社賞受賞
- 1985 (昭60) 県愛鳥モデル校指定・特別教室竣工、ランチルーム給食開始
- 1989 (平 元) 萩っ子の森完成
- 1990 (平 2) 萩財産区での山仕事活動を始める
- 1991 (平 3) 健康推進全国優秀校「すこやか賞」受賞
- 1993 (平 5) 緑の少年団全国大会で奨励賞受賞・活動発表
- 1994 (平 6) 全国植樹祭で農林水産大臣賞受賞
- 2001 (平13) 緑化推進運動功労として内閣総理大臣賞受賞
- 2007 (平19) 合併により豊川市立萩小学校となる
- 2009 (平21) 新型インフルエンザにより修学旅行を延期



旧校舎の瓦



新設の体育館(S56)



すこやか賞(H3)

明治7年の創立から140年あまり、町村合併により「萩村立」「音羽町立」「豊川市立」と校名を変更しながら現在に至る。

豊かな自然に囲まれて、緑化推進や愛鳥活動を中心にすえた教育活動を続けている。山仕事を体験したり、探鳥会を定期的に行ったりすることを通して、すくすく伸びゆく子どもが育っている。全校児童が一輪車に乗って演技する運動会も長い伝統になっている。



給食(S30頃)



第2回卒業生(M4)



親子探鳥会(H12)

萩小学校校歌

河合 俊郎 作詞
永見 貞三 作曲

一 緑ゆたかな 前山の
あかるい朝の かがやきに
あおぐまなびや ひかる窓
希望あらたに 眉あげて
学んでいこう げんきよく
みんながんばれ 胸をはれ

二 山陰川に ささやいて
風がさやかに 呼んでいる
未来ゆめみる 萩小の
子らはすこやか はばたいて
きたえていこう はげみあい
みんながんばれ 胸をはれ

三 萩の三つ葉は むすびあい
力あわせて のびていく
はるかな空に わく雲よ
ああ しあわせな ふるさとよ
歌っていこう 手をつなぎ
みんながんばれ 胸をはれ



巣箱かけ(H4)



運動会萩音頭(S29)



運動会 一輪車ショー(H26)

萩小の昔のお話を聞く会 (平成26年11月20日)

今日は、60年前に卒業したおじいさん・おばあさんのお話を聞きました。昔の萩小は今の人数よりずっと多かったことにおどろきました。昔は「村」だったので少ないと思っていたからです。学校にぞうりをはいてきていたので、歩きにくくてころびやすいのかなと思いました。昔の遊びでは、ほとんど自分たちで遊ぶものを作っていたので、昔の子どもは頭がいいなと思いました。私も昔の遊びをしてみたいです。
(4年児童感想)

長沢小学校



現校章



旧校章

校章の由来

大正13年伊與田次郎作氏寄贈の校旗に使用されていた図案を、平成3年度から改めて校章として使用。途中、昭和30年から平成3年まで使われていた校章は、現在、長沢町旗に残っている。

一 真清水の せせらぎや
音羽川 源はるか
掬めど つきぬ 心の泉
あ、われら われらが 矜持
うるわし 長沢

二 さみどりの におやかに
京ヶ峯 双葉は かおり
若き力 大地に溢る
あ、われら われらが 希望
うるわし 長沢

三 あたらしき あげほのや
高らかに 平和を讃えむ
聖き生命 理想に燃えて
あ、われら われらが 夢よ
うるわし 長沢



PTA勤労奉仕(S32)
給食用割木、シイタケ原木運び



給食風景(S39)



卒業生(M40)



忠魂碑と卒業生(M43)



学校前の旧東海道でマラソン大会(S30頃)



センダンの木の周りで運動会(S31)

～地域の方から学ぶ60年前の長沢小学校～

60年前の長沢小学校は、運動場が狭くて、その運動場の真ん中に、黄金の木とせんだんの2本の大きな木がありました。高さは10mぐらいあったそうです。その木は、運動場を広げるために切られてしまいました。昔、運動場の前に流れていた小川は、今も広がった運動場の下を流れているそうです。昔の教室の机も見せてもらいました。机は、とても小さくて、今の教科書やノートだとはみ出そうでした。校舎も小さく、1階建てで、廊下のそうじは、大変そうでした。

今は、遊具とか冷蔵庫とかストーブとかあるけれど、それはあたりまえじゃないということを学びました。60年前のけしきは、どんなけしきだったんだろうなあ。



黄金樹伐採(S42)



全校鼓笛隊(S42頃)



春の校舎(H26)

- 1872 (明 5) 学制布達 長沢は赤坂郷学校区
- 1873 (明 6) 長沢に赤坂郷学校支学校設置 上は慶忠院、中は誓林寺、下は洞泉寺が仮校舎
- 1877 (明10) 現在地(元御殿跡の官有地)での開校決定
- 1878 (明11) 8月15日校舎落成 9月30日開校
- 1879 (明12) 西校舎が役場になったため2階建校舎1棟増築
- 1908 (明41) 校舎新築 昭和42年まで約60年間利用
- 1949 (昭24) 戦争で中断されていた修学旅行再開
- 1950 (昭25) 校庭の大銀杏伐採
- 1951 (昭26) 1月23日完全給食開始 校歌制定
- 1955 (昭30) 萩、赤坂、長沢が合併して音羽町となり、音羽町立長沢小学校と改称 公民館完成
- 1967 (昭42) 運動場拡張 黄金樹伐採 岩石園設置
- 1970 (昭45) 1月31日現校舎完成
- 1974 (昭49) プール竣工
- 1975 (昭50) 健康優良校(全国)特選
- 1984 (昭59) 3月6日体育館完成
- 1992 (平 4) 作文教育で博報賞受賞
- 1994 (平 6) グリーンヒル造成 全国小中学校環境教育賞受賞
- 1998 (平10) 校門から玄関まで改修
- 1999 (平11) 区、PTAからの支援や学校林の収益で校旗を新調
- 2000 (平12) 日本善行会より自然保護活動で表彰
- 2001 (平13) 校庭でドングリの林作り
- 2002 (平14) 児童会室・資料室を学級増のため普通教室に改修
- 2004 (平16) 多目的教室を改築し、仮教室を増設
- 2005 (平17) 特別教室棟増築 既設3階部分を普通教室5部屋に改築
- 2008 (平20) 1月15日音羽町が豊川市に合併 豊川市立長沢小学校と改称
- 2012 (平24) 忍者とりで設置
- 2013 (平25) 自校給食廃止 学校林にミツバツツジとドウダンツツジを植林



大正8年ごろの校舎



昭和40年頃の校舎



新校舎(S45)

明治5年学制発布にともないお寺などを仮校舎とし、和尚さんを仮教師に授業を始めた。明治10年現在地(御殿跡)での開校を決定。当時は松の大木や雑木が繁茂していた土地を村民が開墾して、校舎2棟を建て、明治11年開校した。

明治41年新校舎改築。当時としては近代的な立派な校舎で、昭和44年の改築まで60年間も使用され、多くの長沢の人たちが学んだ。昭和45年、現校舎竣工。

教育に熱心な土地柄もあり、学校も住民の期待に応え、昭和50年の健康優良校(全国)特選を始め、作文教育での博報賞、全国環境教育賞、日本善行会からの表彰など、数々の表彰を受けている。

平成6年よりグリーンヒルが造成され、児童数も平成22年には290名ほどに増加したが、現在(平成27年)は、198名。

赤坂小学校



校章の由来

赤坂の地として有名な「ドウダンツツジ」と「宮路山」を校章に取り入れている。可憐なドウダンツツジの花に赤坂小の「赤」の字を重ね、伸びゆく若葉は手を広げた様を呈している。その後方に宮路山を配し、自然豊かな地で、のびのび育つ赤坂小の子をあらわしている。

- 1868 (明 1) 道齋館として近郷の子弟を薫陶(浄泉寺)
- 1869 (明 2) 修道館開校→(明 3)赤坂義校(正法寺)
- 1872 (明 5) 赤坂郷学校開校(平松彦十郎宅を借りる)
- 1874 (明 7) 赤坂学校(旧伝馬所)
- 1886 (明19) 尋常小学赤坂校となる
- 1892 (明25) 赤坂尋常小学校となる
- 1904 (明37) 木造2階建て校舎建設
- 1908 (明41) 赤坂尋常高等小学校となる
- 1915 (大 4) 校舎増築
- 1921 (大10) 校歌校旗制定
- 1936 (昭11) 校歌制定
- 1937 (昭12) 木造2階建てスレート8教室新築
- 1941 (昭16) 赤坂国民学校となる
- 1945 (昭20) 赤坂国民学校校舎を部隊使用(5月～)寺、八幡社、指浪工場で分散授業
- 1947 (昭22) 赤坂町立赤坂小学校となる 学校給食開始
- 1948 (昭23) 父母教師会結成
- 1953 (昭28) 学校林(イタチハギ)植林
- 1955 (昭30) 音羽町立赤坂小学校となる
- 1956 (昭31) 給食室の改造 完全給食実施
- 1960 (昭35) 赤坂小学校にプレハブ校舎2教室増築
- 1969 (昭44) 鉄筋2階建て新校舎完工 東名全面開通
- 1976 (昭51) 学級増によりプレハブ3教室増設
- 1980 (昭55) 赤坂小学校(東山)完工 プール、体育館竣工
- 1985 (昭60) 太陽の広場アスレチック工事開始
- 1995 (平 7) 運動場周辺への植栽
- 1996 (平 8) 岐阜県大垣市立赤坂小学校との交流開始
- 1999 (平11) 和太鼓奏取り組み開始
- 2008 (平20) 豊川市立赤坂小学校となる



正法寺山門 赤坂義校私塾としての学校



現在の校舎(昭和55年完工)

開校 明治5年9月26日



日本陣(平松邸)門
赤坂郷学校のちに 赤坂学校



校舎増築記念(大正4年)



「赤坂の舞台」での和太鼓披露

校歌

1 仰げば 照りはゆ 宮路山
望めば 清き 音羽川
ああ 大地の恵み うけて
わが赤坂は 幸多し

2 星霜 移りて 年は逝き
人また 去りて 変わるも
ああ どうだんの 色のごと
赤きを誇れ 若人よ

3 朝な夕なに 学び舎の
理想に集う わが友よ
ああ 春秋を 倦まずして
わが赤坂の 名を挙げん



明治時代の校舎
赤坂尋常高等小学校第1回卒業生



昭和時代の校舎(昭和12年)



昭和39年全学級にテレビ設置



昭和43年 移転前校舎

宿場町として栄えた赤坂に明治元年、時の三河判事が私立「道齋館」を建てて近郷の子弟を薫陶したことから始まっている。その後、幾度かの移転や校名変更を経て現在にいたる歴史ある学校である。現在の場所には昭和55年に西浦から東山に校舎を移転、平成24年には開校140周年を迎えた。平成8年より同じ校名という縁から、旧中山道赤坂宿にある岐阜県大垣市立赤坂小学校と交流を続けている。



大垣赤坂小との交流

「私たちの学び舎の歴史」学習会

浄泉寺や正法寺での学びが本校の始まりであること、戦時中は軍隊の駐屯に伴い、こうした寺や工場等で授業を行ったこと、先人の努力の下に校舎が建設されたことなど、本校の歴史を地域の方から学ぶことができ、貴重な時間となった。



御津北部小学校



校章の由来

「みと」を三つの「ト」で表し、中央に「文」と「子」の字を配置した図案

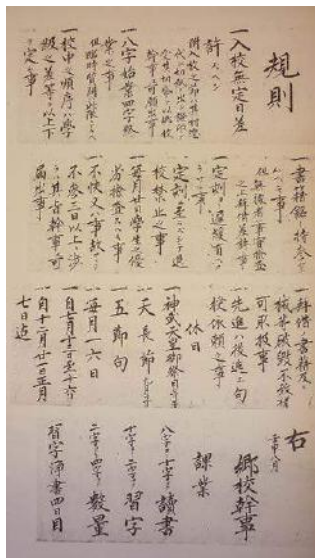
- 1872 (明 5) 郷学校創設 渡辺鑑造氏発起(4.17)学校規則制定
- 1873 (明 6) 第十中学区第48番小学校と称し、浄宝寺内に置く
- 1879 (明12) 第十中学区第14番小学広石学校と改称 学校を御津神社参籠殿に移転
- 1887 (明20) 尋常小学校広石学校と改称
- 1888 (明21) 現在地に校舎新築移転
- 1892 (明25) 御津尋常小学校と改称
- 1903 (明36) 御津尋常高等小学校と改称
- 1907 (明40) 御津北部尋常小学校と改称
- 1918 (大 7) 修学旅行開始(伊勢・名古屋) 3日間
- 1933 (昭 8) 雨天体操場(講堂)完成 二宮尊徳像建立
- 1941 (昭16) 御津北部国民学校と改称
- 1947 (昭22) 御津町立御津北部小学校と改称
- 1950 (昭25) 校歌制定
- 1960 (昭35) 鉄筋校舎完成
- 1963 (昭38) 健康優良学校全国表彰(日本一)祝賀パレード、祝賀会
- 1968 (昭43) 制服イートン型に決定
- 1971 (昭46) プール完成
- 1972 (昭47) 学校創立100周年記念行事 校訓碑建立
- 1989 (平 1) 体育館完成
- 1994 (平 6) 制服廃止 私服化決定
- 1995 (平 7) アスレチック完成
- 2004 (平16) 新校舎完成
- 2006 (平18) 海外交流開始(オーストラリア・シデナム・ヒルサイド小学校訪問)
- 2007 (平19) 豊川市と合併 豊川市立御津北部小学校と改称
- 2011 (平23) 世代間交流交通安全事業セレモニー、環境緑化モデル事業記念式典
- 2014 (平26) 新校舎建設10周年記念航空写真撮影 みと北祭りで御津北部小学校の歴史を発表



昔の学校(M21)



始業の合図の鐘(S25)



学校の規則(M5)
休日や試験の日も決められている(御津神社所蔵)



広石郷学課業表(M5)
各等級で学ぶ教科の内容が記されている(御津神社所蔵)



大正時代の児童(T12)



講堂での入学式(S48)



昔の遊具(S53)



マーチング演奏(H3)

学び舎の歴史学習会「御津北部小学校の始まり」

お話を聞いて私たちの通っている御津北部小学校はとても歴史あるいろいろな人のおかげでできた学校だということがわかりました。御津北部小学校を作った渡辺鑑造さんも人が喜ぶことをするのが好きな人で、駅を作るために自分の土地をあげたり、平壤池を作って田んぼに水を引いたりしてとてもいい人だと思いました。(6年児童感想)



全校児童201人と校舎(H26)

本校は明治の学制発布に先立って県内で一番早く開かれた三つの学校の一つで、市内では国府小学校と本校が一番古い学校と言われている。今年で創立143年となる。昭和38年には、「健康優良学校」日本一に選ばれ、町を挙げて祝賀会が催された。平成18年度よりオーストラリア・メルボルンのシデナム・ヒルサイド小学校と交流を行い、隔年で児童が訪問している。児童数は明治44年には489名であったが、平成に入り児童数も少しずつ減少している。平成27年現在の全校児童数は188名である。

御津南部小学校



校章の由来

平安時代の「倭名類聚抄」に「御津」を「美都」と記録されていたことから、中央に「美」と「南」の字を配置した図案

- 1907 (明40) 御津南部尋常高等小学校創設
- 1908 (明41) 高等科鳳来寺地方に修学旅行
- 1909 (明42) 新築校舎落成 御津南・北・大塚校連合運動会を御馬海岸にて実施
- 1913 (明46) 上佐脇・下佐脇・御馬の3校舎を閉鎖 講堂竣工
- 1920 (大 9) 尋常科6年生伊勢へ修学旅行
- 1927 (昭 2) アメリカ日本人形使節へレレン歓迎会
- 1936 (昭11) 講堂基礎工事中に弥生式土器多数発見
- 1941 (昭16) 宝飯郡御津町南部国民学校と改称
- 1942 (昭17) 全校いごとり実施
- 1947 (昭22) 宝飯郡御津町立御津南部小学校と校名変更
- 1955 (昭30) 新校歌制定 修学旅行京都・奈良へ
- 1959 (昭34) 女子制服決定
- 1963 (昭38) 御馬海岸で水泳訓練
- 1965 (昭34) 男子制服決定
- 1966 (昭41) 豊川用水池を使用した水泳指導
- 1970 (昭41) プール竣工式 CBC音楽コンクール優秀賞
- 1973 (昭48) 新校舎竣工式
- 1980 (昭55) PTA文部大臣表彰を受ける
- 1987 (昭62) 講堂とのお別れ会
長床遺跡(講堂跡地)発掘調査
- 1989 (平 元) 文部省指定生活科研究発表会
- 1996 (平 8) 海外交流開始(オーストラリア・メルボルン・シデナム校と姉妹校提携)
- 1999 (平11) 4～6年合唱発表会(ハートフルホール)
- 2006 (平18) 新北校舎竣工式、新北校舎内覧会
- 2007 (平19) 御津南部小学校創立100周年記念式典
- 2008 (平20) 豊川市と合併 豊川市立御津南部小学校と改称



歓迎会の様子



ヘレン



講堂と大時計
時計は今も動いています

御津南部小学校校歌
(昭和30年)

花さきにおう 引馬野に
文化の園を きづくもの
鏡のごとく われら御津南小学生
知恵をみがきて 新しき
国の光と ならんかな

御津の うらわの 朝夕に
民主の鐘を 鳴らすもの
われら御津南小学生
真珠のごとく まろやかに
徳をおさめて たいらげき
国の宝と ならんかな

音羽の流れ たゆみなく
希望の校旗 かざすもの
われら御津南小学生
まがねのごとく 健やかに
体を鍛えて さかえゆく
国の力と ならんかな



入学式 S39



登校の様子 S39



シデナム校との交流 H19

本校は明治40年(1907年)に御津南部尋常高等小学校として創立され、平成19年には、創立100周年を迎えた伝統ある学校である。昭和30年代は、児童数1400名余りを数えたが、徐々に減少し、ここ数年は600名前後の児童数で推移している。

校内には、南部山や南部川のビオトープ、樹齢150年の大欅や昔からの樹木、広い運動場がある。また、平成8年度にオーストラリア・メルボルンのシデナム小学校と姉妹校提携。翌年から隔年で児童が訪問し、現在も続いている。

「学校の歴史を学ぶ会」

今日は、「青い目の人形」について、元御津南部小校長山口先生にお話をお聞きしました。先生は、インターネットや広報では分からない当時の様子や、どんな服を着てどんなものを持ってきたのか、アメリカの人形を見た人たちがおどろいた様子、御津南部小学校の歴史的な物について話してくれました。(中略)

山口先生が「お話をお聞きした。」と書いていた人の「人形と戦争とは別のものだ。」という言葉が心に残りました。お話を聞いて「青い目の人形」について多くのことがわかりました。青い目の人形がどれだけすごいものか、歴史的で御津南部小の宝物なのかを今までよりも深く知ることができました。改めてヘレンは御津南部小の宝物だと思いました。(6年児童感想)



小坂井東小学校



校章の由来

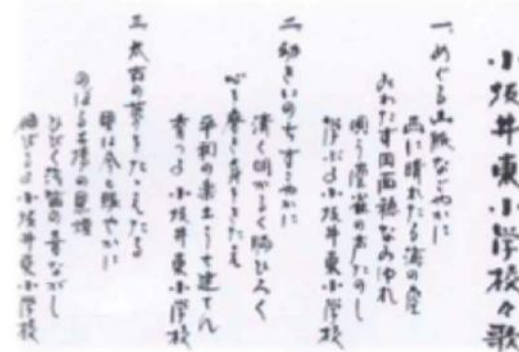
小坂井東小学校の「東」の文字の縦軸の中に、小坂井の地名を配置し、校章とした。



作詞／川出麻須美先生



作曲／岡田力先生



- 1907 (明40) 小坂井第一尋常高等小学校が開校
- 1919 (大 8) 小坂井村補習学校と改称
- 1929 (昭 4) 小坂井町立東尋常高等小学校と改称
- 1932 (昭 7) 新校舎落成式
- 1935 (昭10) 正門落成
- 1941 (昭16) 小坂井東国民学校と改称



食事風景(大正10年)

- 1943 (昭18) 二宮金次郎石像除幕式
- 1945 (昭20) 豊川海軍工廠が空襲され、本校も被災
- 1947 (昭22) 小坂井東小学校と改称
- 1952 (昭27) 校章制定
- 1953 (昭29) 校歌制定
- 1955 (昭31) 開校50周年記念式典 二宮金次郎銅像除幕式
- 1957 (昭32) 北校舎竣工式
- 1963 (昭38) 制服制定
- 1965 (昭40) FBC (フラワーブラボーコンテスト)優良賞入賞
- 1969 (昭44) 旧体育館竣工式
- 1974 (昭49) プール竣工式
- 1976 (昭51) 南校舎・中校舎竣工式



卒業写真(昭和10年)

- 1978 (昭53) ナイター設備完成
- 1982 (昭57) 旧小坂井東小学校記念碑除幕式
- 1985 (昭60) うさぎ小屋完成
- 1988 (昭63) 遊具(滑り台等)設置
- 1991 (平 3) 北校舎床改修
- 1996 (平 8) 校旗新製 ブロンズ像「飛翔」設置
- 1997 (平 9) 校舎耐震工事
- 1998 (平10) コンピュータ室設置
- 2000 (平12) トンボ広場造成
- 2008 (平20) 創立100周年記念式典挙行
- 2010 (平22) 豊川市立小坂井東小学校と改称
- 2012 (平24) 新体育館完成



校旗



新体育館完成(平成24年)



新体育館完成除幕式(平成24年)



校舎正門(S10)



新校舎竣工(S32)



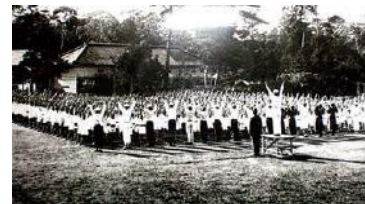
新校舎竣工(S51)



運動場と校舎(明治時代)



50周年記念 運動会の様子(S31)



ラジオ体操の様子(T13)

地域の方から学ぶ研修会を終えて

平成26年12月11日に山内 律憲様をお招きして、「小坂井東小学校の歴史」「小坂井町の歴史」をテーマにして、地域の方から学ぶ研修会を実施しました。

小坂井東小学校は、学校の名前が何回も変わるほど、歴史のある学校であることがわかりました。戦争中は、運動場がいも畑だなんて、今からは考えられません。私たちの学校は100年以上の歴史があります。そして、多くの人たちのおかげで私たちが学校生活を送ることができるので、感謝の気持ちを忘れずにしたいと思います。(6年生男子)

戦後の小坂井東小学校は教科書はなくて弁当はサツマイモ(代用食)で、苦しい学校生活を送っていたことがわかりました。たいへんな時代があった、今の小坂井東小学校があることがよくわかりました。(6年生女子)



トンボ広場完成(H13)



トンボ池の見取り図

本校は明治40年に、小坂井第一尋常高等小学校として開校した。学級数は7、児童数は395名であった。初代校長は岩瀬 精が務めた。その後、児童数は増え、昭和20年には1126名が在籍した。

昭和22年4月、6・3制教育実施に伴って小坂井町立小坂井東小学校と改称した。学級数は18、児童数は821名であった。

その後、平成22年には小坂井町が豊川市と合併に伴い、豊川市立小坂井東小学校と改称した。校訓は「元気で仲良く よく遊び よく学べ」である。

平成27年3月現在、学級数は20、児童数は543名である。

小坂井西小学校



校章の由来

輪郭は葵の葉を表し、中央に「小」と「西」の文字を配置した図案

- 1873 (明 6) 西蔵寺・東漸寺内に伊奈学校創立
- 1907 (明40) 伊奈高等学校・伊奈尋常小学校・豊秋第二尋常小学校を合併し、小坂井第二尋常高等小学校創立
- 1908 (明41) 葵尋常高等小学校と校名改称
校訓「礼讓」「至誠」「勤勞」制定
- 1921 (大10) 葵尋常高等小学校と小坂井第一尋常高等小学校と合併、小坂井尋常高等小学校と改称
- 1929 (昭 4) 小坂井尋常高等小学校を分け、小坂井西尋常高等小学校と改称
- 1931 (昭 6) 木造校舎新築、南正門門柱完成
- 1940 (昭15) 二宮尊徳先生銅像建立
- 1941 (昭16) 小坂井西国民学校と改称
- 1947 (昭22) 小坂井町立小坂井西小学校と改称
- 1952 (昭27) 新築校舎落成式、東正門完成
- 1955 (昭30) 給食調理室落成(現図工室)、完全給食開始
- 1959 (昭34) 鉄筋校舎(現北校舎)竣工
- 1968 (昭43) 旧体育館竣工
- 1970 (昭45) 体育研究優良校(全国学校体育研究連合会表彰)
- 1973 (昭48) 新校舎(南校舎)竣工
- 1975 (昭50) プール竣工
- 1980 (昭55) 新校歌制定
- 1983 (昭58) 校歌碑除幕式
- 2006 (平18) 開校100周年式典
- 2009 (平21) 新体育館竣工
- 2010 (平22) 小西の丘(築山)撤去、駐車場拡張
市町村合併により豊川市立小坂井西小学校と改称
- 2014 (平26) 南校舎外壁改修工事完了



校訓の原書 (M41)



プール竣工(S50)

本校は、寺子屋・私塾時代を経て、明治6年伊奈学校から始まる歴史ある学校である。明治13年に西洋風の校舎を創設。その後、児童数の増加に伴い、何度も校舎や運動場の増改築を繰り返した。また、昭和43年に、当時最先端の屋内体育館を竣工した。昭和57年には、児童数1196名という東三河地方の中でも有数の大規模校であった。平成27年7月現在、児童数637名、23学級となっている。



旧校歌 (M42)

校歌

一、東三河の山とおく
雲がよんでる まなびやに
希望にもえて つどいよる
小坂井西の よい子らよ
今日もあかるく 眉あげて
はげんでいこう がんばろう
はげんでいこう がんばろう

二、葵の花が 咲きついで
風さわやかな 穂の原に
未来めみて かけてゆく
小坂井西の つよい子よ
みんなげんきに 胸をはり
きたえていこう がんばろう
きたえていこう がんばろう

三、歴史はふるい 伊奈の里
ひらけゆく ふるさとに
生まれてそだち のびてゆく
小坂井西の よい子らよ
みんな なかよく 肩くんで
歌っていこう 声たかく
歌っていこう 声たかく



北校舎新築 (S34)



開校100周年記念の際に、新調した校旗



旧体育館 (S43竣工)



現在の南校舎 (S48竣工)

学び舎の歴史学習会 「山内律憲先生のお話」

小西祭の出し物の準備をしている時に、小坂井の昔話を聞きました。風車の事で、みんなが知らない事をくわしく話してくれて、ありがたかったです。また、狐の話や大蛇の話もしてくれて小西祭ですごく役立ちました。これからも小坂井の昔のことに興味をもって調べてみたいと思いました。

(6年児童感想)



東部中学校

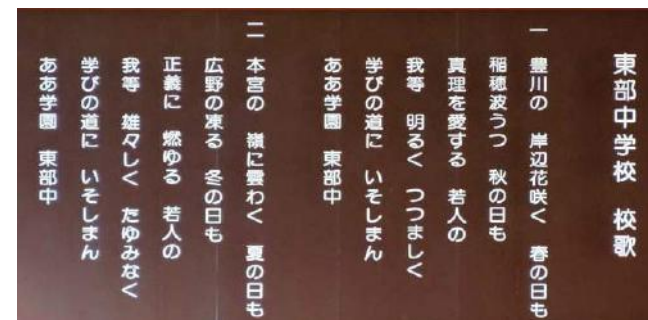


校章の由来

中央に校名の東部中の通称「東中」を大きく描き、「東中」を表現している。さらにその周りを豊川の「ト」をデザイン化した「ト」の字を4つ配置している。



校訓



東部中学校 校歌



東部中学校前身の豊川公民学校



昭和37年当時の学校全景



木造校舎取り壊しの様子(S53)



東京五輪聖火リレーに参加(S39)

開校当時の様子について

～地域の方から学ぶ研修会を終えて～

創立当時は各家庭から持ち寄った弾丸箱を机代わりに、教室不足のために二部授業を始めたそうである。



第3回卒業生(S25)



駅伝部男女全国大会出場(H25)

- 1947 (昭22) 6・3・3制施行により、豊川市立東部中学校が設置
- 1948 (昭23) 旧第3棟竣工式並びに開校祝賀式
- 1948 (昭23) 県「体育研究指定校」に認定(1950研究発表)
- 1951 (昭26) 第4棟竣工式(職員室第1棟東側に移動)
- 1953 (昭28) 校歌制定
- 1954 (昭29) 校旗制定、校訓「正義」制定
- 1956 (昭31) 第5棟(西側・中側)竣工
- 1957 (昭32) 生徒手帳の制定
- 1959 (昭34) 伊勢湾台風による学校被害甚大
- 1961 (昭36) 第5棟鉄筋三階校舎落成式(翌1962南鉄筋三階校舎竣工)
- 1964 (昭39) 東京オリンピック聖火リレーに生徒代表参加
- 1966 (昭41) 旧体育館竣工式
- 1970 (昭45) 故山口校長先生ご遺族寄贈「正義」の碑除幕式
- 1971 (昭46) 旧プール完工式、学校体育優良校として表彰
- 1978 (昭53) 中学校本館(1棟)竣工式、東中創立30周年記念式典
- 1986 (昭61) 新校舎(2棟)完工式
- 1988 (昭63) 生徒会社会奉仕活動に対して市長より感謝状
- 1990 (平 2) 武道館(柔剣道場・部室)完工式
- 1995 (平 7) 1年スキー教室スタート(～平14)
- 1996 (平 8) さよなら体育館集会、新体育館完工式(1997)
- 1998 (平10) TBSテレビ「学校へ行こう」撮影
- 2001 (平13) 新校舎(3棟)・技術科棟完工式
- 2007 (平19) 三河のエジソンこと加藤源重さん初授業
- 2007 (平19) 愛知県中学校駅伝大会男子初優勝
- 2008 (平20) 「自ら輝く子どもたちに」研究発表会
- 2010 (平22) おやじの会発足(会長・松野卓也)
- 2012 (平24) 愛知県中学校駅伝大会男女ペア優勝(～平25)



開校当時の東部中学校



昭和30年の卒業式



1年のスキー実習(白樺湖にて)



加藤源重さん

本校は、豊川公民学校と豊川市立工業学校が同居していたところに豊川市立東部中学校として産声をあげた。創立当時は終戦直後で、校舎、教室、教具、運動施設設備等、今と比べると想像もつかないほどの不備、不足の中で勉強してきた。当初669名であった生徒も年を追って増加の一途をたどり、昭和37年のピーク時には実に2,072名に達し、相次ぐ校舎建設も急増する生徒には追いつかなかった。校区変更により、昭和52年三蔵子小学校校区は新設された金屋中学校校区に、昭和54年千両小学校校区は中部中学校校区になる。「あいさつ・時間・身なり・言葉遣い・掃除・学習」を「あじみこそが」と呼び、『輝く東中生・輝く東中』をめざしている。

南部中学校



校章の由来

南部中学校の「南」を象徴し、大洋を進む船が常に南十字星を求めるように、生徒がめざす理想の星を意味する。

- 1947 (昭22) 元海軍工廠第7 寄宿舍で南部中学校開校 生徒数555名 教員数22名
- 1948 (昭23) 生徒の手による校内新聞「南中タイムズ」を発行
- 1952 (昭27) 校旗・校歌発表
- 1957 (昭32) この頃、柔道部・卓球部・野球部が県大会優勝の大活躍
- 1959 (昭34) 伊勢湾台風で大きな被害 第3棟屋根崩壊、体育倉庫全壊
- 1960 (昭35) 豊川市で初めての鉄筋2階建ての校舎が完成
生徒から歌詞を募集し、応援歌完成
女子の制服デザイン決定 南中独特の白いセーラー服に
- 1964 (昭39) 南中生が聖火リレーに参加 オリンピック記念碑建立
- 1968 (昭43) 統計教育研究発表会 学習社より教育賞を受賞
- 1969 (昭44) 体育館開きにオリンピック金メダリスト中山彰規選手を招待
- 1973 (昭48) 代田中学校が開校
- 1975 (昭50) 沖縄から豆記者を迎え、歓迎会を開催
- 1977 (昭52) 文部省より体力づくり推進校の指定 保健体育優良校として全国表彰
陸上部・剣道部・長距離継走部をはじめ県大会で多くの部が優勝
- 1986 (昭61) 文部省指定の教育課程研究発表会を開催 伝統のマスゲームを披露
- 1987 (昭62) 体育大会と文化祭が統合され、「南中祭」に
好きです南中運動を展開 シンボルマークの決定 南中Tシャツの製作
- 1988 (昭63) 南武館が完成、柔道や剣道の学習が可能に
- 1991 (平 3) 他校にさきがけ、国立信州高遠少年自然の家での野外教育活動を開始
- 1993 (平 5) 「互いに認め合い 主体的に活動する生徒の育成」と題して、学級活動研究発表会を開催
- 1996 (平 8) 創立50周年を迎え、記念式典を挙げる 陸上部、水泳部で全国優勝
- 2001 (平13) 科学部が全国学芸科学コンクールで江崎玲於奈賞を受賞。
- 2002 (平14) 文科省委嘱「学力フロンティア」研究協議会を盛大に開催
- 2003 (平15) 新校舎が完成 新技術棟や新プールも合わせて完成
- 2004 (平16) 新体育館が完成
- 2005 (平17) 市平和記念式典で演劇を上演
- 2013 (平25) 「かわりの中で、聴き合い、伝え合って、自分の思いや考えを深める生徒の育成」を主題として、学習指導研究発表会を開催
- 2014 (平26) 科学部が第11回WRO Japan 2014 決勝大会レギュラーカテゴリー ベーシック競技で優勝

昭和22年、南部中学校は元海軍工廠の寄宿舍を校舎として創設された。施設設備の充実を図りながら、生徒の自主性と個性を尊重した教育活動に取り組み、「体力づくり優良校」として全国表彰を受けるなど、着実な成果を挙げてきた。代田、金屋中学校の新設もあり、一時は1800人余もあった生徒も、現在では740人となり、高潔・純真・勤勉の校訓の下で、市内でも誇れる校風ができあがっている。



生徒議会の様子 (S24)



体育祭 (S31)



相撲場が完成 (S39)

作詞 佐々木信綱
作曲 信時 潔

一 学びの窓より 朝夕に
仰ぐ 本宮の山と高く
かかぐる若き 我らが理想
友よ 励まん いぎ共に
我ら あげん
南部中学の誉れを

二 豊かに流れて 大海に
そそぐ 豊川の水と 清く
心を磨き 体を鍛え
友よ 務めん いぎ共に
我ら まさん
南部中学の栄えを

三 高潔 純真 勤勉の
三つの 校訓を堅く守り
希望を胸に 力を合わせ
友よ 進まん いぎ共に
我ら そえん
南部中学の光を



教室にあふれるほどの生徒 (S36)



フォークダンスで (S38)



校庭でキャンプ (S44)



197名が新設の代田中へ (S47)

学び舎講演会「60年前の南部中学校」

今日の話では、南中についてわかりやすく教えてくださいました。60年前は学校のまわりがほとんど農地で、国道1号線を走る車が敷地内からしっかりと見えたことには驚きでした。南中の校舎が最初は海軍工しょうの宿舎だったのが少しずつ変わっていったことも知ることができました。自分たちで調べたこととは違い、その時の現実の話は何だかすごく深いなと思いました。 (1年生徒感想)



講師：第10回卒業生

中部中学校



校章の由来

中央に校名の中部の「中」を大きく描き、その中に中学校の「中」を配置し、「中中」を表現している。さらにその周りを豊川の「豊」をデザイン化し、「ト」の字を4つ配置したと言われている。

飯盛の緑は丘へ
朱のいらか旭に映えて
そびえ立つ白き学び舎
望み満ち綾に輝く
遠つ祖のこしたまえる
ふるさとの歴史に訓え
せらぎの清き瀬音や
わが胸にせやかにしめぬ
睡み合ひ励ましゆきて
学び舎の教えと誇り
弥永に守り育てん
あゝわれら若き力を
眉高く瞳は澄みて
三百の健児のつどい
濁りせもおこす源
いざともわれら進まん

誠実
勤勉
責任
奉仕
校訓

- 1947 (昭22) 6・3制施行により、豊川市立中部中学校を設置
- 1951 (昭26) 現在地にて新校舎建設起工式
- 1952 (昭27) 木造2階建て新校舎完成
- 1955 (昭30) 県大会で卓球女子優勝
- 1958 (昭33) 運動場整地作業を実施
- 1959 (昭34) 校内に大小400本余の植樹
- 1961 (昭36) 県大会で卓球男子優勝
- 1962 (昭37) 運動場の整地完了
- 1966 (昭41) 小中合同の鋼製プール完成
中日新聞社主催FBC「声の花だより」特選
- 1968 (昭43) 「花いっぱい運動」優良賞受賞
- 1971 (昭46) 現在の体育館完成
- 1976 (昭51) 技術棟新築起工式 創立30周年記念行事開催
同窓会結成
- 1977 (昭52) 鉄筋コンクリート校舎起工式
- 1982 (昭57) 県長距離継走大会で男子優勝
- 1983 (昭58) 木造旧校舎とのお別れ会開催
記念リーフレット「さらば朱の薨」発行
- 1984 (昭59) 鉄筋コンクリート4階建て校舎完成
- 1985 (昭60) 県大会で剣道女子優勝
- 1987 (昭62) 本校PTA全国表彰
- 1988 (昭63) 現在のプール、木工室完成
- 1993 (平 5) 柔剣道場および部室完成 コンピュータ室設置
- 2000 (平12) 地域の方を講師にした「ふれあい活動」開始
- 2001 (平13) 2年生職場体験学習開始
- 2006 (平18) 60周年記念式典挙行
- 2011 (平23) 県大会で弓道女子優勝、全国大会5位入賞



校舎建築の地つき(S26)



第二師範学校構内の校舎と
第1回卒業生(S23)



小中合同のプール完成(S41)



「声の花だより」特選の楯(S41)



木造校舎とその取り壊しの様子(S58)



木造校舎とその取り壊しの様子(S58)



弓道女子 全国大会(H23)



県長距離継走大会男子優勝の
賞状と楯(S57)

本校は、戦災で疎開していた愛知第二師範学校構内(現在の野口町新屋敷1)、旧海軍工廠工具寮を校舎とし、師範学校の代用附属校の性格ももっていた。当時の生徒数は306名で校歌「三百の健児」はここに由来している。昭和25年、校区変更により、平尾地区は西部中学校区に千両地区は東部中学校区になるが、昭和27年、現在の場所に校舎竣工とともに平尾地区が中部中学校区へ、昭和54年に千両地区も中部中学校区へ復帰した。昭和58年、「朱のいらか」と表される木造校舎を鉄筋校舎に建て替え、現在に至る。校訓は「誠実～勤勉・責任・奉仕～」で、奉仕・責任・勤勉を略し「ほうせき」とも呼ばれていたこともある。



～地域の方から学ぶ研修会を終えて～

開校当時の先生から、昔の中中は海軍工廠の寮にあったのを聞いて驚きました。一度、記念碑を見に行きたいです。今のこの場所に中中があるのは寄付や地域の人々の学校にかける熱意のおかげであることを知りました。昔も今も中中は地元の人たちに支えられていると気づきました。
(3年生徒感想)

西部中学校



校章の由来

戦後、昭和22年に誕生した西部中学校の校章は、平和の象徴である「鳩」と西中の文字を組み合わせて作成されている。現在、音羽川に面した校舎壁に大きく掲げられている。

仰ぐ朝雲白鳥の
翼に輝く三河湾
緑も濃き杉並木
歩み我等の学び舎
お、西部西部
西部中学校
三河徳の原月潭とい
恵も豊かき国府の里
今日も培う友愛の
香りを高く胸にみつ
あ、西部西部
西部中学校
宮路下りて身に浴びて
いそむ我等は音羽川
つぎね流れ水の心と
清しつとこころ磨き行く
あ、西部西部
西部中学校

- 1947 (昭22) 国府町寒若寺の旧国府青年学校に西部中設置
- 1948 (昭23) 白鳥町坊入に新校舎完成
- 1950 (昭25) 校歌制定 作曲:山口保治氏
- 1951 (昭26) 西部中学校同窓会結成。
- 1958 (昭33) 宝飯郡御油町が豊川市と合併し正式校区となる
- 1963 (昭38) 国道1号線の交通騒音排気ガスが教育問題となる
西部中学校移転陳情書を市へ提出
- 1965 (昭40) 西部中学校移転促進委員会結成
- 1971 (昭46) 移転促進委員会を西部中学校建設委員会と改組、
改称
- 1972 (昭47) 「生徒信条の碑」除幕式挙行
- 1973 (昭48) 新校舎建設工事地鎮祭執行
PTA臨時総会にて、体育館・プールの設備充実資金の拠出決議
- 1974 (昭49) 国府町岡本に鉄筋4階新校舎完成
- 1975 (昭50) 西部中学校建設委員会総会開催
体育館・プールの備品1705点の寄贈を受ける
- 1977 (昭52) 第16次沖繩派遣遭豆記者団交歓会に、校長・生徒8名参加
- 1978 (昭53) 校舎増築工事(西側教室等)
- 1985 (昭60) 国旗掲揚塔新設工事
- 1988 (昭63) 同窓会より新校旗贈呈
- 1989 (平元) 国府駅待合室に座布団寄贈、名古屋鉄道より感謝状授与
- 1991 (平 3) 県長距離継走大会女子優勝、男子3位
- 1992 (平 4) 校舎増築工事(コンピュータ室等)
- 1993 (平 5) 全国中学校駅伝大会女子出場(熊本県)
- 1994 (平 6) 第49回国体、わかしゃち国体に2年生が集団演技で出場
- 1996 (平 8) 創立50周年記念式典挙行 運動場南側に砂走路完工
- 2002 (平14) 体育大会と文化祭をまとめ、西中祭とする
- 2004 (平16) 西中祭において、「ふれあい活動」始まる
- 2012 (平24) 無錫市新区使節団来校
- 2014 (平26) サッカー部と剣道部女子、東海大会出場



開校当時の西部中(S20年代)



新校舎へ移転(S49)



生徒信条除幕式(S47)



30周年記念(S52)



伝統のマスゲーム(H26)

戦後、新制中学校として誕生した西部中学校は、白鳥の地に校舎が造られた。しかし、トラック輸送の増加と乗用車の大衆化によって、創立当時予想もしなかった教育環境の悪化が問題となり、移転の要望がでることとなった。地域の方々の温かいご協力により、学校移転陳情より10年後、岡本の地に新築移転が完了した。現在、緑豊かな環境のもとでの教育活動が行われ、西中祭マスゲームなどの伝統の行事が続いている。



地域の方に学ぶ学習会を終えて

西部中を卒業された2人の方のお話を聞き、自分が毎日通っている学校の意外な一面を知ることができました。中でも驚いたのは西部中が今の場所になく、国道1号線沿いに建っていたことです。騒音問題が起きている学校としてNHKの取材も受けたそうです。学校の歴史を知るとは、地域を知ることにもつながりとても大切なことだと思いました。(3年生生徒感想)

代田中学校

校章の由来

校章は代田の「代」を図案化し、人間と人間が肩を組み、協力し合って理想をめざす姿を形づくったもの。当時、代田中学校の教壇に立っていた山本須美雄先生によるデザイン。『共につくる喜び』より



『共につくる喜び』(S54)
代田中学校開校から5年間の取り組みをまとめた出版物である。当時の生徒と教師の奮闘ぶりが、生の声を交え、いきいきと描かれている。

校歌「われら」

作詞 竹本三郎
作曲 川崎祥悦

一、はてしなき大空を駆け
清新の風吹きわたる 代田中学よ
われらここに集い
いざともに堅く手を組み
創り出すよろこびにみち
若竹の生命のばさむ

(間奏詩)

ここに生きる われらの心象は
若い日の哀歓を織りなして
学び舎の空間にただよい
われらの映像は 躍動する姿のままに
汗のしみ入った大地に残る
われら 多感の若人
われら 夢多い若人
人生遍路の青春に ともに苦楽を分けた
友の手の温かさ 力強さよ
師の教の優しさ 厳しさよ
ふつと心奥にたぎる
二、穂の国の歴史を継ぎて
悠久の時流れゆく 代田中学よ
われらここに集い
いざともに若き肩あげ
あしたへの希望も高く
美しい日をつくくらむ

- 1973 (昭48) 市内5番目の中学校として新設・開校
- 1974 (昭49) 体育館竣工、体育館前に築山造成
プール完成 (25m×9コース)
- 1976 (昭51) 校旗制定
- 1977 (昭52) 校歌「われら」制定
- 1979 (昭54) 『共につくる喜び』発刊
- 1982 (昭57) 創立10周年記念式典、校歌「われら」の碑建立
- 1983 (昭58) 校舎増築
タイムカプセル保管庫完成
立志の塔完成
- 1989 (平 1) 校区クリーン作戦開始
- 1991 (平 3) 武道場・技術室完成
- 1992 (平 4) 創立20周年記念代田祭開催
- 1994 (平 6) 愛知県学校給食優良賞表彰受賞
- 1995 (平 7) 学校給食文部大臣表彰受賞
- 1997 (平 9) 校内善行生徒表彰「レインボー賞」開始
- 2002 (平14) 朝の読書開始
- 2003 (平15) 創立30周年記念式典、航空写真撮影
- 2004 (平16) 読書デッキ「ドリームデッキ」完成
- 2005 (平17) 世界万国博覧会「愛・地球博」全校見学
- 2006 (平18) マイブックプロジェクト開始
- 2007 (平19) 本物の舞台芸術体験事業、名古屋フィルハーモニー交響楽団公演鑑賞
- 2008 (平20) NHK「中学生日記」キャラバン2008
- 2009 (平21) 本物の舞台芸術体験事業、日本オペレッタ協会公演鑑賞
- 2012 (平24) エコキャップ感謝状受賞
- 2013 (平25) エコキャップ回収数200万個達成、特別功労賞受賞



開校当時の校庭 (S48)



航空写真 (S53)

本校は1973年に、当時の豊川市の工場誘致とそれに伴う人口増加に対応するために新設された、豊川市5番目の中学校である。開校当時の生徒たち、教師たちが、協力し合いながら自らの手で学校づくりを進めていくために案出された「共につくる喜び」を学校目標として、42年の歴史を歩んできた。

現在もこの学校目標のもと、エコキャップ運動の推進、老人介護施設の訪問など、生徒と教師が手を取り合い、地域に密着した活動に取り組んでいる。



川崎祥悦氏直筆の楽譜 (S52)
歌詞は、当時の教育長である竹本三郎先生の作である。
校歌にはめずらしい混成四部合唱として作曲されている。



エコキャップアート (H24)

代田中学校の歴史を学ぶ会

代田中学校が開校した1973年から本校の教壇に立たれていた鈴木定夫先生を講師にお招きしました。開校当初の写真を見ながら、生徒のようすや、当時の苦勞、喜びについてお話していただきました。

「何気なく使っている運動場、テニスコート、体育館など、代中にあるすべてのものが先輩たちが創り上げたものであり、ゼロからのスタート、苦勞の結晶だと知りました。」(生徒感想)



金屋中学校



校章の由来

「カナヤ中」を圖案化し、当時市教委の山本氏が制作。自立・進歩・希望を表している。

- 1977 (昭52) 豊川市立金屋中学校開校 第1回体育大会 体育館完工式
- 1978 (昭53) プール完工式 校旗制定 第1回文化祭
- 1979 (昭54) 技術科教室完工式
学校給食優良校文部大臣表彰
- 1981 (昭56) 佐奈川美化活動始まる
生徒信条「高めあうなかま」石碑建立
- 1982 (昭57) 校歌制定披露式
- 1984 (昭59) 運動場拡張工事 東海3県英語弁論大会優勝
- 1985 (昭60) 新テニスコート竣工式
ゴールデン賞始まる
- 1986 (昭61) 増築3教室校舎完了 創立10周年記念式典
- 1987 (昭63) 文化祭パフォーマンス始まる
- 1991 (平 3) 武道館完成
全日中体育大会陸上部出場
- 1992 (平 4) B棟西壁面校章設置 コンピュータ室完成
- 1993 (平 5) 全国教育美術展県最優秀校表彰
- 1995 (平 7) 東三河長距離継走大会女子の部優勝
- 1996 (平 8) 全日中水泳大会出場
- 1998 (平10) バスケットボール部女子東海大会出場
- 2001 (平13) 全国教育美術展特選
- 2003 (平15) 学校安全文部科学大臣賞受賞
- 2004 (平16) 朝の読書始まる
- 2006 (平18) 新コンピュータ室完成
- 2007 (平19) 木像「追憶」設置 創立30周年記念式典
- 2010 (平22) 全国教育美術展特選
- 2013 (平25) 本校キャラクター「かなやん。」誕生
金中校区W3年生安全マップ活動始まる
- 2014 (平26) 理科室改修



石碑建立(S56)



文化祭パフォーマンス(S63)



木像「追憶」(H19)

本校は昔の海軍工廠の跡地にあり、豊川市のほぼ中心に位置している。校区は南北に長く、東西には幅の狭い地域である。東部中学校の過大化を解消するために東部中・南部中の一部を学区として、生徒数483名13学級で昭和52年4月に開校した。校歌制定は昭和57年、武道館の完成は平成3年であり、現在の姿になるまでに15年ほどの月日を経ている。昭和60年に始まったゴールデン賞の制度は現在も脈々と受け継がれ、本校生徒の善行の励みとなっている。来年度、創立40周年の節目の年を迎える。

朝あけて
あらたなる空 かすみ立ち
ああ さくらさく 宝飲の国
におい満つ
このふるさとに 栄えゆかん
かしこき智慧を みがきつつ
高めあうなかま 金屋中学校
まひる日の
紺碧の空 雲わきて
ああ みどり濃き 佐奈堤
流れゆく
そのせせらぎに はぐくまん
ゆたかなころも ともめつつ
高めあうなかま 金屋中学校
あかねさす
夕映えの空 風わたり
ああ ゆるぎなき 本宮山
見はるかす
あの山なみに さたえなん
たくましき力 きそいつつ
高めあうなかま 金屋中学校



開校時の校舎と第1回体育大会(S52)



武道館の完成により現在の姿に(H 3)

講演会「校歌制定をめぐって」 「石ころだらけの運動場」

講師◎2代校長

講師◎第1回卒業生

私の父が、金屋中学校の校歌ができた時に入学したと言っていたので、父の気持ちになって講話を聞いていました。父は校歌をほとんど覚えていないと言っていたので、当時の生徒は私たちとは全く違ったのだと思いました。私は校歌が好きです。できた時の話や当時の金中生の気持ちが聞けて、改めて校歌を大切に合唱していかなければならないと思いました。開校当初は複数の学校から生徒が集まってきたと聞き、クラスの子や部活動の仲間と離れてしまい本当に大変だったと思います。3年生として金屋中学校に来た第1回の卒業生は、とても苦勞をされたのだと思いました。私が高、普通に学校へ通えるのは、今までの卒業生のみなさんのおかげなので、感謝の気持ちをもって学校生活を送ってきたいと思います。(1年生徒感想)



一宮中学校 豊

校章の由来

「一宮中」を図案化したもの。1 回生が創案、17回生が製図をした。



旧校旗

一白雲なびく 本宮の
嶺のかがやき 射すところ
古きみやしろ 鎮まりぬ
風澄みわたる 裾原の
希望にこぞる 学舎は
母校中学 一宮

二みどりを流す 豊川は
四季のしあわせ もたらせり
ゆたけき村に 生いたちて
誇りにはずむ 野の児らが
理想ははるか 実践の
教えますすぐに 励みゆく

三真理のさわめ 自治のわざ
世界にかよう 心もて
郷の平和を 築きなん
未来へ放つ あこがれの
虹あるつばさ はばたきて
永久に栄えあれ 我が友よ

- 1947 (昭22) 宝飯郡一宮町立一宮中学校創立(4月1日)
開校(4月18日) 第1回卒業式(86名)
学芸会始まる(～昭34)
元旦展覧会始まる(～昭40) PTA発足
- 1949 (昭24) 修学旅行(大阪・京都)始まる
- 1951 (昭26) 校歌制定 卒業生を送る会始まる
- 1953 (昭28) 生活親子文集「本宮」第1号発刊
- 1954 (昭29) 校旗制定
- 1957 (昭32) 南校舎(鉄筋3階建)落成
- 1961 (昭36) 北校舎(木造5教室)一宮西部小より移築
- 1963 (昭38) 生徒数最大901名(男471女430)
- 1963 (昭38) 校章創案・バッジ創案 ミルク給食始まる 給食室新築
- 1964 (昭39) 完全給食始まる 岩石園造成(一宮勤労体育センターの場所に)
- 1967 (昭42) 学校給食優良校県表彰 自転車置き場2棟完成
- 1968 (昭43) 体育館竣工 ヘルメット着用自転車通学始まる 卓球部男子県大会優勝
- 1970 (昭45) プール落成式 弓道場竣工式 地域への奉仕活動始まる
- 1975 (昭50) 校舎建設20周年記念会開催 校内緑化推進で運動場に芝植え
- 1980 (昭55) 「栄光の碑」設置 庭球部男子県大会優勝(昭48・53)個人東海大会2位(昭52)
- 1981 (昭56) 「校歌碑」設置 ボランティア活動者表彰(県知事) 北門竣工
- 1984 (昭59) 体力づくり優良校県表彰 剣道部女子全国中学校選抜大会5位
- 1988 (昭63) 東海北陸PTA研究大会で発表 立志の会始まる
- 1990 (平2) 武道館新築 県社会福祉協力校(～平5)
- 1991 (平3) カナダ・台湾へ生徒派遣始まる(～平17) 吹奏楽部東海吹奏楽コンクール出場(平4)
- 1994 (平6) 体育大会応援合戦スクラム別(縦割り)で実施 2年スキー研修始まる(～平19)
- 1996 (平8) 創立50周年記念式典 校旗更新 同窓会名簿発行 弓道部女子全日本錬成大会優秀賞
- 2003 (平15) 南校舎新築工事完了
- 2005 (平17) 一宮町が豊川市に編入合併、豊川市立一宮中学校と改称
- 2007 (平19) サッカー部新設
- 2010 (平22) 市教育委員会委嘱研究発表会「活気に満ちた、魅力ある学校づくり」
- 2011 (平23) 「赤ちゃんが来た日in一宮中学校」始まる



野球部県大会3位(昭24)



校章・バッジ創案図



スクラム活動のあゆみ
H6 応援合戦をスクラム別で実施
H7 スクラム演技開始
H13 スクラム合唱開始
H23 スクラム朝会開始
H24 スクラム黒板開始



学芸会(S22～S34)



展覧会(S22～S40)



昔のクラスマッチ(S28)



奉仕活動(S45～)

地域の方から学ぶ会 「3回生の年輩の思い出話」

私は3回生の先輩方のお話を聞いて、昔も生徒たちで一中をつくってきたことがわかり、とてもうれしくなりました。形は少し違っているけど体育大会や合唱コンクールは受け継がれてきたんだと思いました。私が3年生になったら、大先輩たちと同じように一生懸命にやってみようという学校にしたいです。そして、この一中でたくさんのすてきな思い出を作りたいです。(1年生生徒感想)



創立当時の学校風景(S22)



新南校舎完成(H15)

昭和22年義務教育9年制とともに中部職業補導所の校舎4棟を借用して宝飯郡一宮町立一宮中学校が創立した。校舎や校地を買収しながら整備し、昭和49年には運動場に芝植えするなど校内緑化を推進して、今や市内最大の校地面積を有する自然豊かな学校となった。昭和45年から障害者施設や駅などの奉仕活動が恒例行事となり、昭和56年ボランティア活動で県知事賞を受賞した。また、平成6年の体育大会の応援合戦をスクラム別(縦割り)にしたことが始まりとなり、伝統のスクラム活動が20年以上続いている。平成8年には創立50周年の式典が盛大に行われた。生徒数は、創立当時416名で、昭和38年に最多の901名であった。

音羽中学校



校章の由来

旧音羽中学校の校章から鳥の羽根、萩中学校からハギの葉を取り込んで現在の校章となった

- 1947 (昭22) 赤坂町立赤坂中学校、長沢村立長沢中学校、萩村立萩中学校設置
それぞれ小学校校舎の一部および公民館(長沢)を教室として使用
- 1948 (昭23) 長沢中学校と赤坂中学校が統合し、音羽中学校開校
- 1950 (昭25) 音羽中学校、学校施設の優良校として愛知県教育委員会から表彰
- 1951 (昭26) 第2回全日本学校植林コンクールにおいて第2等受賞
- 1952 (昭27) 萩中学校、第1回野鳥生態観察記録コンクールにおいて、文部大臣賞を3点受賞
この年以降10年間毎回文部大臣賞を受賞
- 1955 (昭30) 音羽町立音羽中学校、萩中学校に改名
萩中学校、愛鳥作品巣箱コンクールで文部大臣賞受賞
- 1960 (昭35) 萩中学校、愛鳥保護活動10周年で文部大臣賞受賞
- 1961 (昭36) 第11回野鳥保護作品を出展し、文部大臣賞受賞
- 1965 (昭40) 愛鳥活動に対し、日本鳥類保護連盟より表彰。国旗掲揚塔建立
- 1968 (昭43) 愛鳥活動に対し、林野庁長官賞受賞
- 1969 (昭44) 学校図書館優良賞により愛知県より表彰、音羽町学校プール竣工
- 1970 (昭45) 萩中学校と音羽中学校が統合。新校舎竣工
- 1971 (昭46) 交通安全活動が認められ、全日本交通安全協会会長から表彰
- 1976 (昭51) 日本学校歯科医師会より全日本良い歯の学校表彰
- 1978 (昭53) 愛知県より、学校保健活動に対して特選、学校図書館に対して奨励賞を受賞
- 1980 (昭55) 学校図書館最優秀賞として文部大臣賞受賞
- 1981 (昭56) 鳥獣保護に対し愛知県知事より表彰
- 1988 (昭63) 愛知県により学校給食優良校として表彰
- 1989 (平元) 第40回全国学校給食研究協議大会文部大臣賞受賞
- 1999 (平11) 『親子で遊ぶ』ネイチャーウォッチングでNHK教育テレビ取材
- 2002 (平14) 1棟玄関校名・校章取り付け。穂の国子ども水辺サミット紙上発表
- 2008 (平20) 編入合併に伴い豊川市立音羽中学校に改名
- 2013 (平25) 自校給食が廃止になり、豊川市給食センターでの給食となる
- 2014 (平26) 体操服の変更 PTA活動について豊川市及び東三のPTA連絡協議会で発表

赤坂・長沢・萩の3つの中学校が統合を重ね、音羽中学校となって46年目を迎えた。平成を迎える頃には生徒数は500名を超える時期もあった。自然が豊かで愛鳥活動では輝かしい受賞歴をもち、観察記録が国語の教科書に掲載された。



音羽中学校校舎竣工記念写真(S23)



裁縫室授業の様子(S20年代)



萩中学校南校舎(S42)



体育大会の一コマ(S35)



学校全景(S61)



愛鳥活動巣箱かけ(H12)

校歌
昭和四十五年度生徒一同 作詞・作曲

一朝日輝く 学びやに
若き力は 意気高く
燃えろ若人 若人手をとりて
友愛の情を 結びゆかん
ああ われらの 音羽中学校

二流れは清き 音羽川
真理求めて たゆみなく
学べ若人 若人胸をはり
自立の道を 歩みゆかん
ああ われらの 音羽中学校

三歴史ゆかしき
高き望みを 限りなく
進め若人 若人たくましく
建設の道を 励みゆかん
ああ われらの 音羽中学校

地域の方(先輩)に学ぶ学習会を終えて

音羽中の校区には最初3つの中学校があったことを知りました。校舎が作られるときは町や村の人たちがお金を出し合っていたことがわかり、今学校があるのも地域の人たちが協力し合ってくれたおかげだと思いました。学校横には松並木があったり、門の位置が今とは違ったりと学校やその周りの様子も今と昔では随分違ったそうです。今の校章や校歌は生徒たちの手作りだということがわかり、先輩たちの思いを大切にしてお返ししていきたいと思いました。(1年生徒感想)



御津中学校



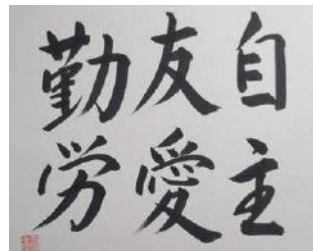
校章の由来

黄金色に輝く18枚の花紋。その下側には、3つの「ト」がデザインされており、「御津」を表している。

- 1947 (昭22) 宝飯郡御津町立御津中学校開校
- 1950 (昭25) 校旗樹立式・校歌制定
- 1954 (昭29) 講堂竣工式
- 1957 (昭32) 天皇・皇后両陛下大草海岸に行幸啓 奉送迎
- 1959 (昭34) 伊勢湾台風により校舎・建物に被害
- 1962 (昭37) 生徒数988名で最大に
- 1965 (昭40) プール完工式
- 1967 (昭42) 道徳教育の成果に対して第12回学研表彰を受ける
- 1971 (昭46) 台風23号による豪雨のため御津川が氾濫(校舎内外浸水)
- 1972 (昭47) 国旗掲揚塔・東門・校訓碑竣工
- 1973 (昭48) 宝飯南部給食組合設立に伴い完全給食実施
- 1975 (昭50) 吹奏楽部文部大臣奨励賞・CBCこども音楽コンクール最優秀賞
- 1981 (昭56) 弓道部女子全国中学校通信弓道大会優勝
- 1983 (昭58) 弓道部女子全国中学校通信弓道大会優勝
- 1984 (昭59) 愛知県音楽教育研究大会
- 1990 (平 2) 宝飯郡AET制度開始
- 1991 (平 3) 第1回中学生海外交流派遣団出発(カナダへ生徒5名・教師1名)
- 1997 (平 9) 体育館竣工
- 1998 (平10) 全国中学校卓球大会 男子団体・個人出場
- 2000 (平12) 校歌制定50周年記念 校歌四部合唱編曲
- 2003 (平15) 1年「光る海体験活動」開始
- 2005 (平17) 2年「長距離歩行」開始
- 2007 (平19) 豊川市と合併 豊川市立御津中学校と改称
オーストラリアのテイラーズレイクスセカンダリーカレッジと交流開始
- 2010 (平22) 新校舎改築工事竣工式・記念航空写真撮影
全国中学校弓道大会準優勝
- 2011 (平23) 愛知県学校視聴覚教育研究大会
- 2012 (平24) アメリカ キュパティーン市親善使節団受け入れ
次代を担う文化芸術体験活動 人間国宝 講談師 一龍斎貞水さん 来校
- 2014 (平26) 中央トイレ改修工事



「栄光の窓」
「栄光の記録庫」



校訓



第1回卒業生 (S23)



昭和30年頃の校舎、講堂



体育大会の様子(S40)



栄冠に輝く吹奏楽部(S50)



理科の授業(S54)



御津中祭「ソーラン節」



「光る海」手作りカッター体験



御津中祭での「町内練り歩き」(S63)



体育大会「御津中エール」

戦後の極度の物資不足や資金不足の時代に、町民の方々による寄付や用地の確保、整地、校舎の建設によって、昭和22年、坪野地区に御津中学校が誕生した。急な実施のため、1年と3年は南部小学校で、2年は北部小学校で授業がスタートした。その後も施設整備が進み、昭和36年度からは鉄筋コンクリート化による増改築、新設等が行われている。現在の2階建ての体育館は、各種の催しをするに十分な広さがあり、本校のシンボリックな施設である。部活動が活発に行われ、全国大会で優勝するなどの功績が顕著である。平成3年度からは、海外派遣交流を継続して実施している。

学び舎の歴史 講演会 「地域から子どもたちへ伝えるもの」

講師 ● 渡邊宏修 氏

「廊下にある学校の歴史年表を見たことがありますか?」「今の校長先生は何代目か?」という質問をしたり、これまでの大きな出来事についてプレゼンで説明してくれたりして、とても分かりやすかったです。中学校時代の仲間の大切さや地域での役割について、渡邊さんの人生経験から「可能性を引き出すのも、自分の行動や考え方次第だよ。」と、私たちにアドバイスしてくれました。(生徒感想)



小坂井中学校



校章の由来

「中学」の文字を月桂樹（一説ではサクラ）で囲んだもの。図案は生徒から募集したものとされている。

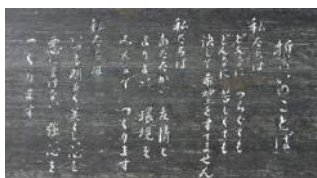
- 1947 (昭22) 旧住友金属伊奈寮跡地に、小坂井中学校発足
- 1949 (昭24) 木造校舎竣工(西側) 東側・理科室は26年に竣工
- 1954 (昭29) 鉄筋3階建校舎(第1期・2期)竣工
- 1959 (昭34) 伊勢湾台風の被害甚大 野球部県大会準優勝
- 1961 (昭36) 南校舎第3期竣工 戦後生まれ初の卒業生巣立ち
- 1963 (昭38) 生徒会により、「誓いの言葉」を作成
- 1964 (昭39) 東京オリンピック聖火リレー小坂井町を通過
- 1966 (昭41) 給食室完成、完全給食実施 吹奏楽県大会優勝
- 1970 (昭45) 現在の体育館竣工 中山彰規選手模範演技 校舎前通路へ银杏植樹
- 1972 (昭47) 現在のプール竣工
- 1977 (昭52) 弓道部県大会優勝、野球部県大会準優勝
- 1980 (昭55) 現在の鉄筋2階建て北校舎竣工
- 1981 (昭56) 現在の武道館竣工 格技施設の充実県下一
- 1983 (昭58) 管理棟(現在の職員室等)竣工
- 1986 (昭61) 吹奏楽東海大会優秀賞
- 1989 (平元) 臨時生徒総会で校則改正 男子頭髪清潔で中学生らしいものへ変更 剣道部全日本選抜剣道大会出場(女子)
- 1990 (平2) 宝飯郡に英語指導助手との授業開始
- 1991 (平3) 立志関連行事「渥美半島表浜40km歩行」始まる 自然教室始まる 宝飯郡中学生海外派遣事業(カナダ)始まる(坂中13名)
- 1996 (平8) 全国少年武道錬成大会(弓道)に男女とも出場
- 1997 (平9) 創立50周年記念式典 武道館に校名文字・校章を設置
- 1999 (平11) 小坂井おやじの会が、愛知県で最初に発足
- 2000 (平12) 2年生立志関連行事として、職場体験学習実施 陸上部ジュニアオリンピック全国大会で活躍
- 2004 (平16) 全国少年弓道錬成大会(日本武道館)女子団体優秀賞
- 2005 (平17) 全国中学校弓道大会(明治神宮)男子団体準優勝
- 2010 (平22) 豊川市との偏入合併により、豊川市立小坂井中学校と改称



発足当時の校舎



校訓「自主」



誓いの言葉

昭和38年5月、誓いの言葉選定会議が開かれた。坂中をよい学校にしていこうと、全校生徒から言葉を募って作り上げたものである。この誓いの言葉は、その後の生徒会活動の源となり、あいさつ運動や美化活動に発展した。そして、卒業後も、人生を支える言葉となり、坂中生の心に宿っている。



校舎風景



東京オリンピック聖火ランナー



伝統ある陸上競技部



昭和36年当時の体育大会



TDB校歓迎会



昭和58年航空写真

敗戦混乱の小坂井町に、昭和22年4月、旧住友金属伊奈寮の寄宿舎を借用して開校。1年生193名・5学級、2年生110名・4学級、3年生44名・1学級の10学級、全校生徒数347名で町内唯一の中学校としてスタートした。

昭和50年代から平成の初めにかけては、生徒数900名を超えていた。昭和59年の1144名をピークに減少に至り、平成27年5月現在、生徒数は628名である。

校訓「自主」と「誓いの言葉」を全生活領域で具現化し、実践力のある、心身ともに健全な生徒の育成を期している。また、カナダの中学校との交流を続け、国際感覚豊かな生徒の育成にも力を入れている。

学び舎の歴史展の取材や坂中祭での発表を終えて

卒業生の野田さんと中村さんにインタビューして、教育の仕方が昔と今とは全く違い、厳しそうだなと感じました。坂中周辺も今は家がたくさん建っていますが、昔は全くないことに驚きました。友達に連絡するのも、当時は電話が普及しておらず、わざわざ走って伝えに行ったそうです。今の私たちはすごく恵まれているんだと実感しました。(樋口 龍清)



私たちの学び舎の歴史展 委員紹介

委員長 出口 修(桜木小)
副委員長 金澤 哲哉(牛久保小)
副委員長 加藤 悦子(中部小)

実行委員

永井 久嗣(豊川小)	大島由美子(東部小)
石黒 智子(桜木小)	庄子 晋(三蔵子小)
岩村 英幸(千両小)	壁谷 健太(八南小)
田中 幹唯(平尾小)	杉浦 悟史(国府小)
加藤 直美(桜町小)	柴田 道理(御油小)
長谷川智也(天王小)	今泉 友子(代田小)
植嶋 修士(金屋小)	大須賀 孝(豊小)
坂田 利生(一宮東部小)	天井 直次(一宮西部小)
水野 隆二(一宮南部小)	大澤 義浩(萩小)
清水 孝子(長沢小)	豊田 康男(赤坂小)
近藤 智正(御津北部小)	小澤 慎一(御津南部小)
山口 雅司(小坂井東小)	平 哲也(小坂井西小)
吉中 靖二(東部中)	井上 敏宏(南部中)
杉浦 滝三(中部中)	鈴木 智晴(西部中)
神谷 寛之(代田中)	野口 和利(金屋中)
小島 修(一宮中)	山内 敏男(音羽中)
岡田富美成(御津中)	野田 佳宏(小坂井中)

協力委員

大橋 萌乃(桜木小)	柴田 信明(牛久保小)
金澤 哲哉(牛久保小)	加藤 悦子(中部小)
原田 涼介(八南小)	大井 実(八南小)
波多野菜美子(八南小)	柏村千恵子(八南小)
白井 快典(国府小)	山本 香織(国府小)
加藤 直美(桜町小)	小嶋 禎浩(御油小)
大須賀 孝(豊小)	林口 優太(一宮東部小)
竹田 崇慶(一宮南部小)	小澤 慎一(御津南部小)
森下 耕充(東部中)	池田まゆみ(東部中)
城田 祐輔(東部中)	鈴木 恭子(南部中)
井上 裕弓(南部中)	杉浦 滝三(中部中)
山口 将臣(西部中)	宮野 匡(西部中)
河村 泰明(西部中)	神谷 寛之(代田中)
白井 由佳(一宮中)	清水 宏樹(一宮中)
上妻 俊之(一宮中)	

事務局

山本 一之(学校教育課) 桑野 立吾(学校教育課)

TOY  KAWA